八代市地域別ワークショップ
記録報告書

平成 18 年 11 月

１．目的と進め方

（１）目的

①新市建設計画策定時の地域ワーキング会議

新市建設計画策定の際に行われたワークショップは、合併の一体感の醸成を大きな目的として開催されました。

- それぞれの市町村の資源を掘り起こし、全体で巡るなどのイベントを通して、それぞれの市町村を知り、合併前の一体感を醸成
- 各地域でのまちづくりの目標、取り組みを探り、共通点を新市建設計画の施策・事業に反映するとともに、地域別整備方針に成果を反映

②今回の地域別ワークショップ

今回の地域別のワークショップは、市民が日常の生活の実感から合併後のそれぞれの地域のまちづくりの目標と施策の方向性を明らかにし、総合計画に反映していくとともに、住民自治への意識づくりを目的として開催しました。

- 市民の提案をたたき台に策定された新市建設計画を再度見直し、合併後、新たな八代市としてスタートするための施策・事業の総合的な指針となる総合計画の策定のために、市民意見を反映（計画のたたき台ではなく、制度的にも位置づけられた手続きの基に、行政の責任としての計画を策定）
- 住民自治組織の確立を控え、地域のまちづくり計画を検討していく上での方向性を見出し、住民主体、協働のまちづくり意識を醸成、まちづくりの仲間づくり
- 職員（専門部会）参加による協働意識、市民と行政の新たな関係づくりの契機

（２）求める成果

各地域の抱える課題からまちづくりの目標とその実現のための取り組みを成果として得ていきました。

- 各地域のまちづくりの重点的な課題と目標、協働の取り組み

▼

- 総合計画において、
  - 地域別のまちづくりの方向として整理
  - 共通の課題や取り組みについて戦略（重点）プロジェクトとして整理

（3）構成

地域別ワークショップの目的と成果を踏まえ、以下に示す３回のワークショップを構成しました。

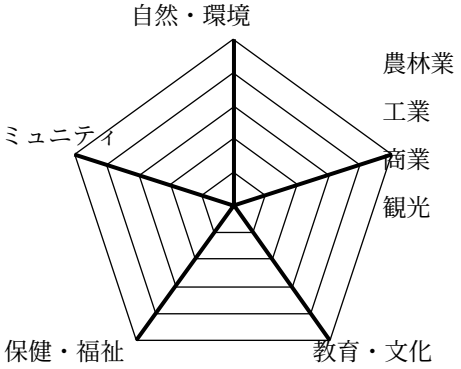
第１回「現状を知る」

○ワークショップ開催の趣旨

・ワークショップの目的と総合計画、策定手続き

○新市建設計画の「くにづくり」別に現状を５段階評価

・グループ内での評価という作業を通じて、参加者同士の情報交換、地域の魅力や問題点共有（気づき）

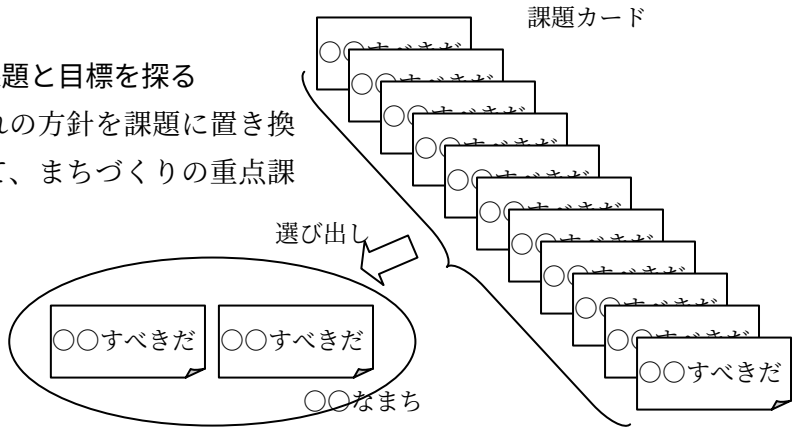


千丁地域　９月５日（火）　　坂本地域　９月７日（木）
八代地域　９月８日（金）　　泉地域　　９月 11 日（月）
東陽地域　９月 13 日（水）　鏡地域　　９月 14 日（木）

第２回「課題を探る」

○地域のまちづくりの重点課題と目標を探る

・新市建設計画のそれぞれの方針を課題に置き換えた課題カードを使って、まちづくりの重点課題と目標を検討

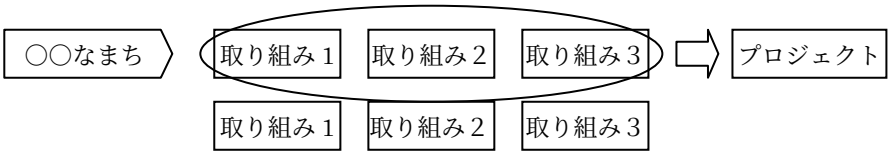


千丁地域　９月 26 日（火）　　坂本地域　９月 28 日（木）
八代地域　９月 29 日（金）　　泉地域　　10 月２日（月）
東陽地域　10 月４日（水）　　鏡地域　　10 月５日（木）

第３回「取り組みを考える」

○目標の実現に向けた取り組みを考える

・目標の実現に向けた取り組みを洗い出し、プロジェクトとしてまとめ、協働のまちづくり事業を整理する



千丁地域　10 月 17 日（火）　　坂本地域　10 月 19 日（木）
八代地域　10 月 20 日（金）　　泉地域　　10 月 23 日（月）
東陽地域　10 月 25 日（水）　　鏡地域　　10 月 26 日（木）

２．第１回地域別ワークショップ

（1）プログラム

19：30　1.開会・あいさつ

19：35　2.趣旨説明

　　アドバイザー紹介

19：55　3.参加者紹介・グループ分け

20：10　4.地域を評価する

　　～通知表づくり～

21：00　5.発表

21：30　6.閉会

「市民が考えるまちづくりの意見を総合計画に反映」、地域別ワークショップの趣旨が説明され、いよいよ６地域３回、計18回のワークショップが始まりました。

「居住年数と居住満足度」をカードに書いて、グループ分けを行いました。

ワークショップは、さまざまな立場の人との意見交換が重要です。居住年数の長い人・短い人、男性・女性が均等になるように６～８人のグループに分かれました。

さらに職員もグループに１人入り、共に知恵を出し合いました。

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の５項目を５段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のことに気づかされました。

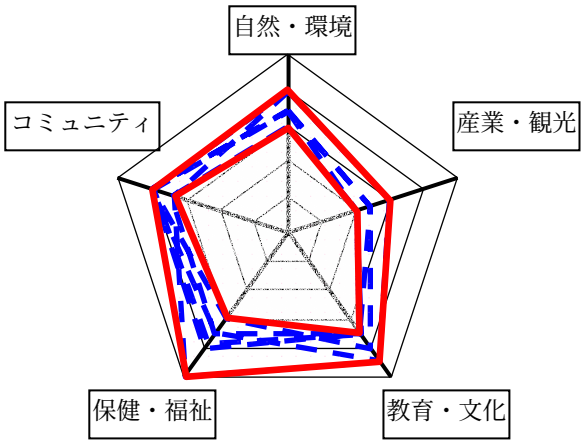
（２）第１回地域別ワークショップのまとめ

①評価

５項目の評価を地域別に以下に整理します。

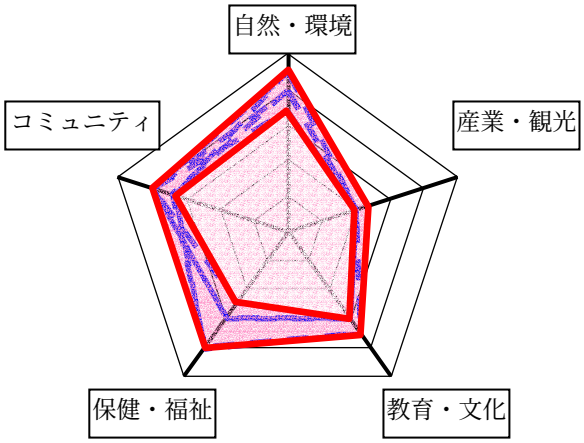
千丁地域

○「産業・観光」の評価は低いものの、全体的に評価は高い。
○「自然・環境」は、緑の豊かさが評価されているが、河川臭やごみなどが問題となっている。
○「産業・観光」は、農業の低迷と目玉となる観光名所不足が課題としてあげられている。
○「教育・文化・歴史」は、施設の充実が評価されているが、その利用などに課題を抱えている。
○「保健・福祉」は、評価点数に大きな差がみられる。施設の充実があげられる一方、自己負担の増加が評価に影響している。
○「コミュニティ」は、活発な地域活動が評価されているが、新旧住民の交流が課題となっている。



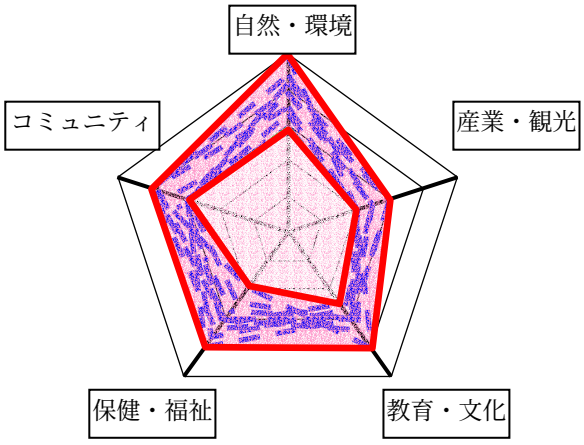
坂本地域

○「産業・観光」、「教育・文化」の評価が低く、大きな課題となっている。
○「自然環境」は、水と緑豊かな自然が高く評価されているが、その管理、災害が問題となっている。
○「産業・観光」は、中心となる産業がなく、観光の素材はあるものの十分に活用されていないなど、大きな課題としての認識が高い。
○「教育・文化」は、子どもの少なさにプラス・マイナスの両面がそれぞれあるが、地域の伝統行事や文化活動は高い評価を得ている。
○「保健・福祉」は、施設が充実し元気な高齢者が多い一方で、医療費負担の増加や福祉サービスの低下、医療機関への不便さが指摘されている。
○「コミュニティ」は、人間関係の希薄化が懸念されているが、地域のつながりの評価は高い。

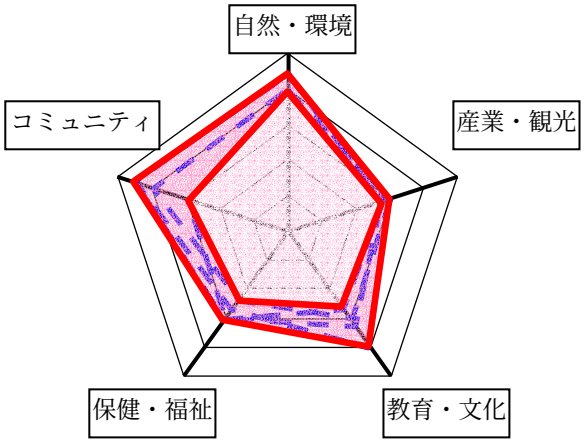


八代地域

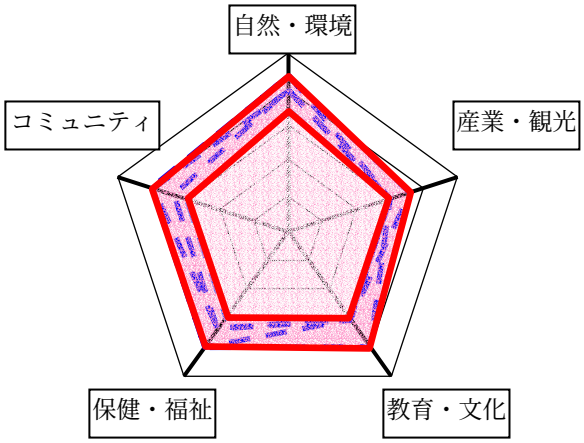
○全体として評価が分かれるが、比較的「自然・環境」が高く、「産業・観光」の評価が低い。
○「自然・環境」は、山、海、川などの自然に恵まれるが、ごみ問題など環境面での評価が低い。
○「観光・産業」は、企業が立地し、農業もがんばっているが、温泉をはじめせっかくの観光資源を活かしきれず、魅力と賑わいに欠ける。
○「教育・文化」は、学校教育や文化活動などに一定の評価はあるものの、歴史や文化に対する市民意識の低さが指摘されている。
○「保健・福祉」は、評価に大きな差がみられ、施設的には充実してきているが、利用サービスなどソフト面の充実が強く求められている。
○「コミュニティ」は、ＮＰＯやボランティア活動が増え始めた反面、地域活動の固定化、地域のつながりの希薄化が問題となっている。



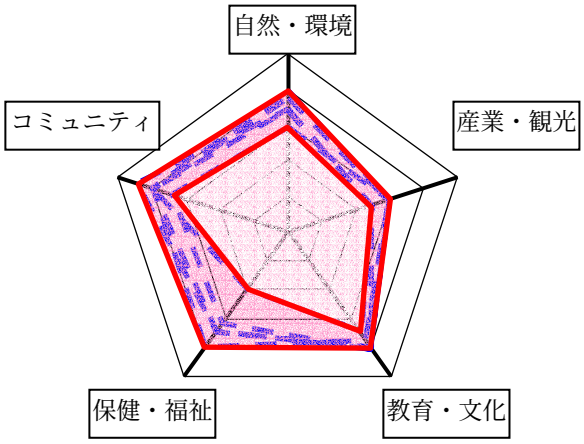
泉地域
○「自然・環境」と「コミュニティ」の評価が高く、「産業・観光」や「保健・福祉」で評価が低い。
○「自然・環境」は、以前に比べて川が汚れてきているという指摘があるものの、山、川のきれいな自然に高い評価となっている。
○「観光・産業」は、五家荘などの観光資源、農林産物があるものの、全体として低迷しており大きな課題となっている。
○「教育・文化」は、子どもが少ないことによる小中学校の統廃合や文化施設の不足はあるものの、子ども達の教育、成長は高い評価を得ている。
○「保健・福祉」も、以前に比べて高齢者施設は充実してきたが、サービスの不十分さや病院への不便さなどが大きな問題となっている。
○「コミュニティ」は、つながりの薄れが指摘されているが、地域のつながり交流の評価は高い。



東陽地域
○全体としてどの項目も平均的に評価が高い。
○「自然・環境」は、きれいな川や山に恵まれているが、ごみの不法投棄が目立ってきている。
○「産業・観光」は、石橋などの歴史資源が豊かで、交流センターなどへの来客もあるが、これといった産業もなく農業の低迷が問題となっている。
○「教育・文化」は、学校や地域で子ども達を育み、郷土芸能や文化活動も盛んであるが、文化施設が少なく、成果発表の場の整備が望まれている。
○「保健・福祉」は、医療健診や高齢者福祉サービスは充実してきており、子育て環境も含めてさらなる充実が求められている。
○「コミュニティ」は、地域のまとまりやつながりが深いが、若者の地域活動への不参加や協調性のなさが懸念されている。



鏡地域
○全体としてどの項目も評価は高いが、「保健・福祉」で大きく評価が分かれている。
○「自然・環境」は、海や川の自然は豊かであるが、ごみの不法投棄、まとまった緑や大きな公園がない事が指摘されている。
○「観光・産業」は、農業を基幹産業に商業・工業がそろってはいるものの、それぞれの産業の低迷が懸念されている。
○「教育・文化」は、学校、文化センターをはじめとする施設が充実し、評価は高い。
○「保健・福祉」は、施設は充実しているが、サービスのさらなる充実が望まれている。
○「コミュニティ」は、地域のつながりの希薄化が懸念されているが、青年団や老人会をはじめ地域活動が活発である。



②各地域の評価の理由

各地域の評価理由を各項目別に整理します。

■千丁地域

項目	評価点数	評価理由	
		○評価できるところ	×評価できないところ
自然環境	3 ↓ 4	・緑が豊か。 ・下水道が整備された。 ・河川の臭いが昔に比べ多少改善されてきた。 ・各地区で美化運動を実施。	・新幹線や宅地化で農地や緑が減少している。 ・下水道が全域整備されていない。 ・河川の臭いがまだまだ課題。 ・河川が増水する。 ・ごみのポイ捨て、犬のフンの始末が悪い。 ・野焼きによる煙。 ・道路の振動、騒音がする。
観光産業	2 ↓ 3	・い草、アスパラなどの農業が盛ん。 ・収穫体験の実施。 ・農地の区画整理はできた。 ・いい温泉がある。	・第一次産業の低迷。農家の数も半分に。 ・農産物の価格低迷。 ・農家経営が厳しい。低賃金。 ・い草のブランド化、海外輸出を。 ・観光名所がない。
教育文化	3.5 ↓ 4.5	・図書館や文化センターなどの文化施設が充実している。 ・学校、保育園もよい。 ・伝統芸能が継承されている。	・施設の利用料が高い。 ・公民館の講座が減少傾向にある。 ・文化学習の発表の機会が少ない。 ・子どもの競争心がない。 ・学童保育の待機児童が多い。保育料が高い。 ・伝統芸能の継承者問題。 ・補助金減少により活動の低迷。
保健福祉	3 ↓ 5	・近郊に総合病院がある。 ・ディサービスの充実。 ・子育て支援センターの充実。 ・幼稚園で３～４歳児が受け入れるようになった。	・介護保険の自己負担が増えた。 ・ディサービスの利用が厳しくなった。 ・小児科が少ない。 ・中高年層を対象にした運動の機会が少ない。
コミュニティ	3.5 ↓ 4	・近所付き合いがよい。 ・スポーツを通しての交流が盛ん。 ・防犯パトロールを実施。 ・防災無線の設置。	・農家と非農家とのライフスタイルの違いにより、話す機会が減った。また、考えの相違が生じている。 ・新しく引っ越してきた人との交流が少ない。 ・挨拶が少なくなった。

■坂本地域

項目	評価点数	評価理由	
		○評価できるところ	×評価できないところ
自然環境	3.5 ↓ 4.5	・球磨川をはじめとする水辺、緑の自然が豊か。 ・空気がきれい。名水がある。 ・山の産物が豊か。 ・動物などが生息しやすい。 ・ごみ分別が都市部より優れている。	・山林の手入れが不十分、山が荒れてきた。 ・鳥獣の被害が多い。 ・鳥や魚が少なくなった。 ・山、川に人が行かなくなった。遊ばない。 ・水害、がけ崩れなど災害が多い。 ・ごみが多い。
観光産業	2 ↓ 2.5	・観光の素材はある。 （滝、桜などの名所、温泉、道の駅など） ・素材を活かそうとする活動はある。 ・IC 企業がある。	・産業といえるものが少ない。 ・働く企業や店がない。 ・素材を十分に活かしきれていない。 ・観光の目玉となるものがない。 ・林業の後継者不足。林業が荒廃。 ・交通の便が悪く、買い物には遠出が必要。
教育文化	3 ↓ 3.5	・身近に学習施設があり、学習講座に参加しやすく、盛ん。 ・地域の祭りや伝統行事が受け継がれている。 ・子どもの数は少ないが、挨拶など心豊かな子ども達が多い。 ・学校教育がよく、小学校統合の効果が出てきている。	・地域の文化、昔からの文化の掘り起こしが足りない。 ・スポーツを行う場所がないなど、施設の整備が不十分。 ・少子化が進み、学校の将来が不安。 ・子どもの数が少なく、競技などの選択の幅がない。 ・教育に経費がかかる。
保健福祉	2.5 ↓ 4	・福祉施設が充実している。 ・元気なお年寄りが多い。	・医療負担が増え、福祉サービスが低下した。 ・病院が遠く、通院が不便。 ・福祉施設の不足する地区が見られる。 ・高齢者が利用しやすい施設が少ない。 ・平等な福祉施設がなされていなく、サービスが低下している ・子どもを育てる人達の集まりが少なくなっている
コミュニティ	3.5 ↓ 4	・一人ひとりの意見を良く聞いてもらえる。一人ひとりが活かされている ・どこに行っても顔見知りが多い ・近所づきあいがよくみんな協力し合う地域性がある ・ケーブルで地域の動きが良くわかり活用されている。	・地域活動への参加者が少なくなり、傘下に偏りがある ・人間関係が希薄になった。 ・地域格差、世代の違いがある。 ・各施設が有料化され、使いにくくなった。 ・支所だよりが読みにくい。

■八代地域

項目	評価点数	評価理由	
		○評価できるところ	×評価できないところ
自然環境	3 ↓ 5	・山、海、川、干潟など自然が豊か。 ・災害が少ない。 ・地下水が豊かでおいしい。 ・町なかでホタルが飛ぶ。 ・公園や民家の庭がきれい。 ・ごみの分別収集が徹底している。 ・公害が少なくなってきた。	・自然環境を活かしきれていない。 ・川の汚濁、水質悪化。 ・ごみの分別のさらなる徹底、意識改革を。 ・ごみの不法投棄がある。 ・ごみ処理場がパンク寸前である。 ・工場などによる大気汚染。
観光産業	2 ↓ 3	・九州の中心として交通結節点として期待される。 ・大きな企業が立地している。 ・い草やトマトやパプリカなど日本一。 ・良質な温泉などの観光資源は多い。	・観光資源がうまく活かされていない。ＰＲできていない。 ・日奈久温泉の活性化が行われていない。 ・特産物が活かされていない。 ・地元にやる気がない ・一日楽しめる、遊べる場所がない。 ・新幹線は通過するだけ。 ・空き店舗が増え、専門店も少ない。 ・い草に頼る状態で、農業の将来が不安。
教育文化	2.5 ↓ 4	・不登校生の受け入れ、就学前教育などが充実してきた。 ・私立高校の活躍、教育内容がよい。 ・学校と地域との交流がある。 ・妙見際などの伝統行事や歴史資源は豊富。 ・文化活が盛ん。	・歴史や文化の素材や環境を活かしきれていない。 ・八代の歴史や文化に対する市民の意識が低い。子どもへの学習の充実を。 ・文化施設が不十分、活動に偏りがある。 ・４年生大学がない。
保健福祉	2 ↓ 4	・高齢者施設やサービスが充実し、生き生きとした高齢者が多い。 ・子育て支援も少しずつ充実してきた。	・高齢者の負担が増加。 ・子育て支援の充実を。 ・障害者に対する支援がもっと必要。 ・小児科が不足、地域医療サービスが低下。 ・救急医療体制の不安、不備。 ・医療負担が増えた。
コミュニティ	3 ↓ 4	・人情がとてもあつく、人が良い。 ・地域の連携、隣人関係がよい。 ・ＮＰＯやボランティアが増えている。 ・防犯パトロールなど地域活動も盛ん。	・近所づきあいが薄れてきている。 ・地域活動に差がある。 ・地域活動の参加に偏りがある。 ・固定観念が強く、閉鎖的。 ・自治意識が低く、自己中心的。 ・人通りが少ない場所での防犯体制の不足 ・輪ができるとはいりずらい

■泉地域

項目	評価点数	評価理由	
		○評価できるところ	×評価できないところ
自然環境	4 ↓ 4.5	・山、川の自然がきれい。 ・ホタル、自然林が多く残っている ・四季それぞれに美しさがある。 ・かけ干しの風景がのどかで落ち着く。	・昔より川が濁った。 ・ごみの不法投棄。 ・災害に弱い。
産業観光	2.8 ↓ 3	・五家荘など観光資源に恵まれている。 ・新鮮な野菜、良質なお茶など山間地ならではの産物がある。 ・道路の整備が進んだ。	・農林業、茶業の低迷、後継者不足。 ・観光地のＰＲ不足、リピーター不足。 ・雇用の場所が少ない。 ・観光地の整備、交通アクセスの整備不足。 ・農産物のブランド化ができていない。 ・地域全体で活気がない。 ・地域を支える人材の不足。
教育文化	2.8 ↓ 4	・小学校の集団学習など、少人数なので先生の目が届く。 ・地域の教育力がある。 ・伝統芸能がしっかり受け継がれている。 ・国指定の文化財が多い。	・子どもが少なく、学校統廃合が心配。 ・少人数なので競争心がなく、できることが限られる。 ・高校が遠く、交通費がかかる ・伝統芸能の人材不足。 ・文化施設(博物館、美術館など)がない。
保健福祉	2.5 ↓ 3	・介護施設が充実し、高齢者福祉はよい。 ・家族が安心して預けることができる施設がある。 ・高齢者が喜んで施設に出かける	・病院への交通が不便で、特に高齢者には不安。 ・小児科が少ない。夜間病院がなく、救急病院も遠い。 ・市街地に比べて選べるサービスが少ない。
コミュニティ	3 ↓ 4.5	・人間的にあたたかみがある。 ・みんなが顔と名前を知っている。 ・地域間の交流、祭りなどのイベントが盛ん。 ・世代を問わず仲がいい ・子どもに一体感があり、個々とのつながりが深い。	・少しずつ都会的な考え（責任問題など）がでてきた。 ・地域の会合に若者が少なく、年配者が多くなった。

■東陽地域

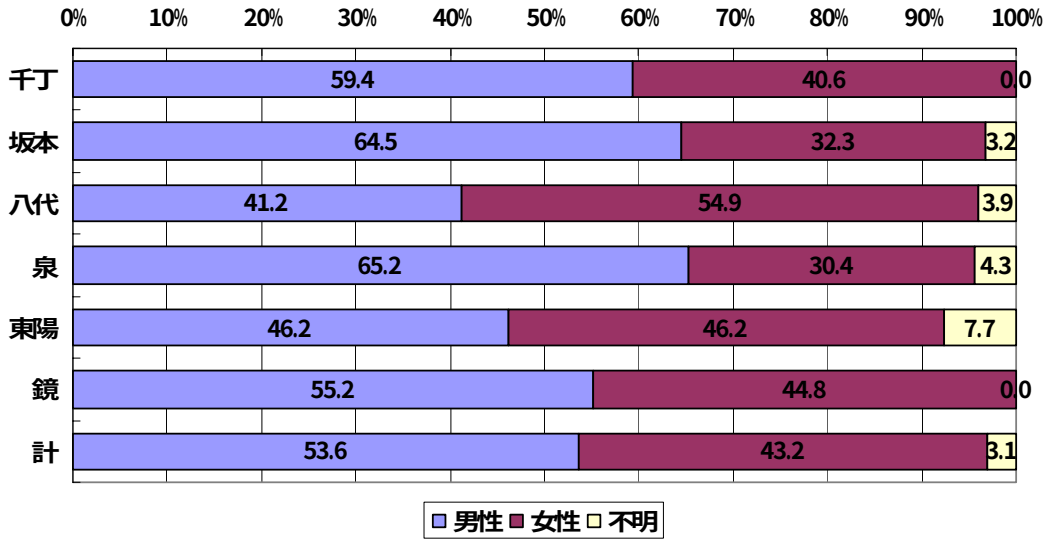
項目	評価点数	評価理由	
		○評価できるところ	×評価できないところ
自然環境	3.5 ↓ 4.5	・自然に恵まれ、子どもが自然の中で遊べる。 ・川がきれいで、ホタルも多く、川遊びができる。 ・空気がきれい ・居住環境がよく、住みやすい。 ・清水堂湧水、美生滝がきれい。 ・黒渕公園が良い。 ・下水道の整備はできている。	・ごみ不法投棄。 ・葦が川に生えている ・山の人工林化。 ・コンクリート護岸の川が増えた。 ・道路の整備がされていない。 ・交通が不便。
産業観光	3 ↓ 3.8	・石橋に代表される歴史が多く残っている。 ・交流センターや物産館に町内外からの来客があり、賑わっている ・生姜などの名産地で、新鮮な野菜が買える。	・これといった産業がなく、お店が少ない。 ・後継者、労働不足によりの行が低迷。 ・観光地、観光施設（宿泊など）が少ない。 ・自然、歴史資源を活かせていない。
教育文化	3 ↓ 4	・学校教育や地域の目が行き届き、子どもたちが素直に育っている。 ・住民総参加の伝統の祭りなど、郷土芸能が引き継がれている。 ・文化活動は盛ん。	・高校、大学への進学の不安、通学の不便さ。 ・スクールバスが必要 ・文化施設が少なく、催し物や発表(オカリナなど)の場が少ない。 ・外部文化に触れる場が少ない。
保健福祉	3 ↓ 4	・高齢者へのサービスが充実している。 ・さまざまな健診が受けられる。 ・ケーブルテレビが整備されている。	・いきいきサロンの普及など福祉サービスの充実を。 ・子どもの検診の内容が悪くなった。 ・病院の不足、病院が遠い。 ・子育て環境の充実を。 ・高齢者が社会参加できる場を。
コミュニティ	3 ↓ 4	・地域のまとまり、集落のつながりが深い。 ・仲間意識が強くなった。 ・ケーブルテレビで娯楽が増えた。	・行政区域が広くなり、地域コミュニティが不足している。 ・団地の協調性がない。 ・若者の地域活動への参加が少ない。 ・昔の風習がある。 ・街灯が少ない。 ・排水設備などがまだ整備されてない。

■鏡地域

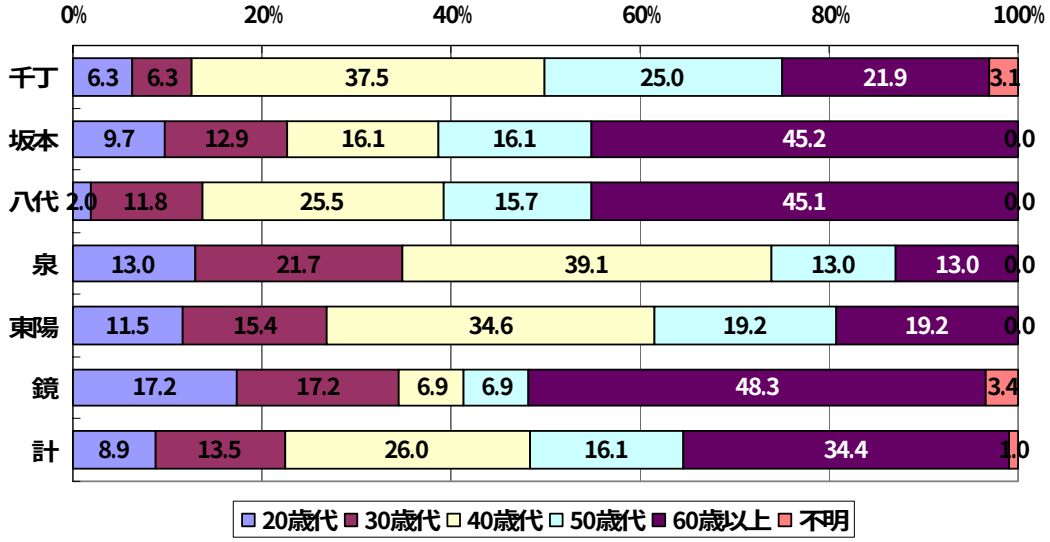
項目	評価点数	評価理由	
		○評価できるところ	×評価できないところ
自然環境	3 ↓ 4	・海、空気がきれい、い草の緑がよい。 ・昔に比べて水がきれいになった ・災害が少ない。 ・体験型学習ができる ・水がおいしい。 ・道路に花が多い。	・海や川が汚い。 ・森や大きい公園がない。 ・子ども達を遊ばせる場が少ない。 ・ごみが多く景観がよくない。 ・休耕田が荒れている。 ・排水がよくない。
産業観光	2.5 ↓ 3	・農業・商業・工業それぞれあり、頑張っている。 ・施設園芸が盛ん。 ・おざやの樋門などの干潟の史跡、文化がある。 ・大きなスーパーがある。 ・祭りやイベントが多い。	・これといった観光名所や特徴がない。 ・観光のためのＰＲ不足。 ・働く場がない。 ・農業後継者がいない。 ・い草の低迷。 ・商店街が寂れている。
教育文化	3 ↓ 4	・学校や文化施設などの施設が充実している。 ・郷土史家がいる。 ・小、中学生のあいさつがいい。 ・干拓地の歴史がある。 ・文化活動や伝統的な催しが盛ん。	・歴史や文化に対する意識が低い。 ・教育に対する意識が低い。 ・氷川高校の統廃合が心配。
保健福祉	2 ↓ 4	・保育園、福祉施設が充実している。 ・病院が多い ・福祉サービスが以前よりよくなった。	・総合医療がない。夜間・休日医療の充実を。 ・医療保険の負担が増えた。 ・障害者支援の不足、障害者の社会参加、自立の場を。 ・子育て支援、高齢者福祉サービスのさらなる充実を。
コミュニティ	3 ↓ 4	・青年団、老人会の活動が活発。 ・公民館活動や生涯学習が盛んになってきた。 ・地域のつながりが良い。 ・人間性がいい。	・青年団、婦人会、子ども会の会員の減少。 ・人とのつながりが希薄になった。 ・若い人が少なく仲間づくりができない。 ・合併後、地域のニュースが減り、広報誌を読まなくなった。

（3）参加者アンケート結果

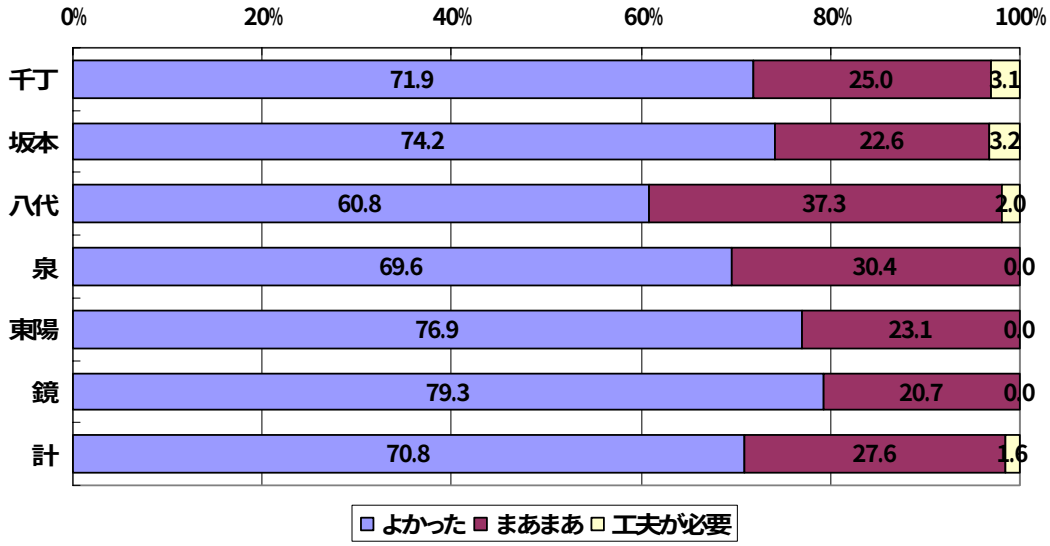
①性別



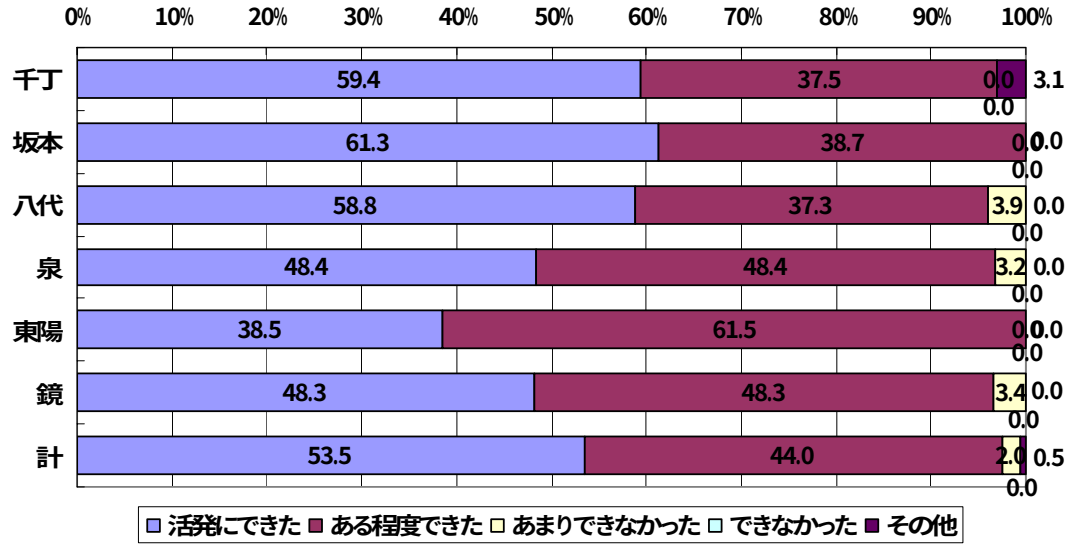
②年代



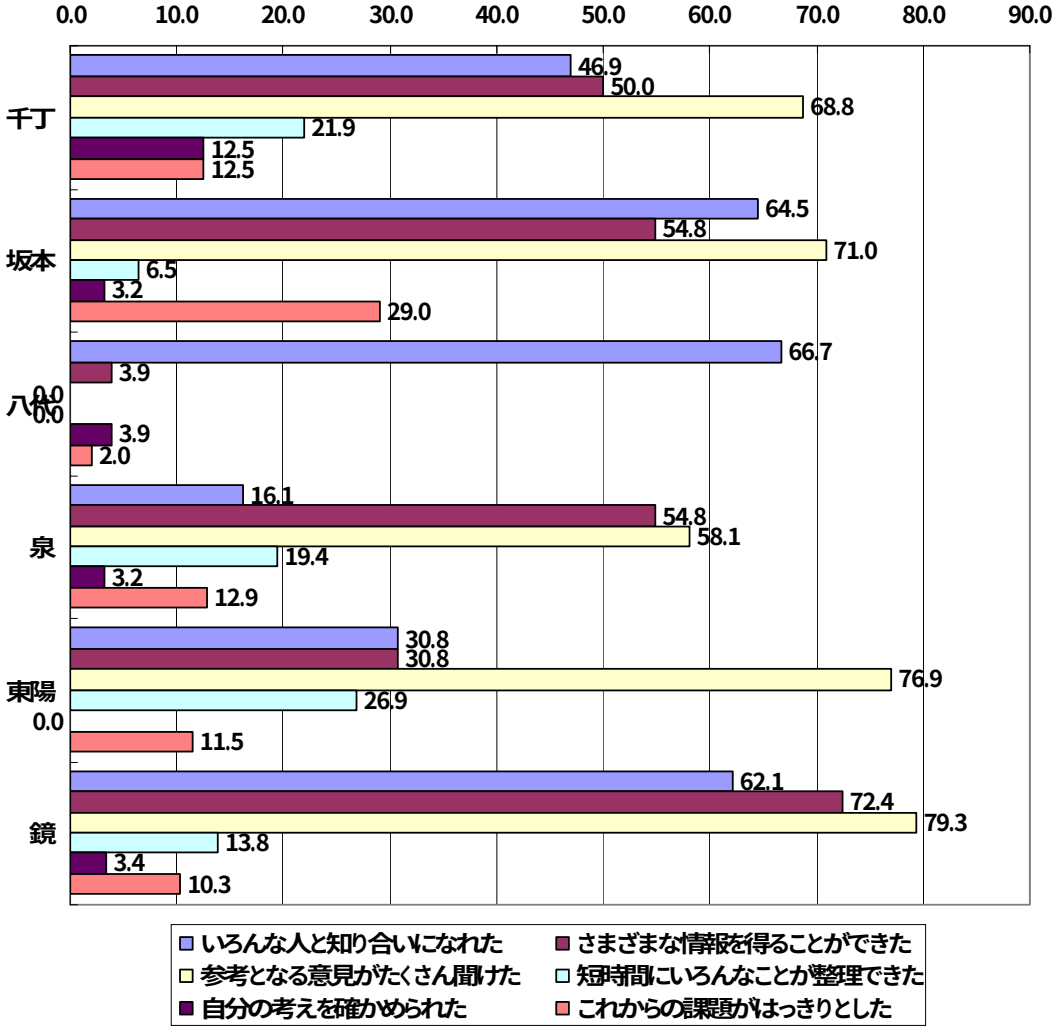
③ワークショップの全体の印象



④グループ内での議論



⑤ワークショップで感じたこと



３．第２回地域別ワークショップ

（１）プログラム

19：30　１．開会・あいさつ

19：40　２．参加者紹介・グループ分け

19：50　３．前回の振り返り

20：00　４．地域の課題と目標を考える

～課題の重みづけ～

～まちづくりの目標～

21：10　５.発表

21：30　６.閉会

前回の作業を振り返り、６地域の評価の結果を比較しながら、地域の現状を確認しました。

あらかじめ設定した 26 個の課題から地域の重要な課題３つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。

個人個人で選んだ３つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

グループでまとめた重点課題と目標を発表しました。グループで共通する考え方も確認できました。

（2）第２回地域別ワークショップのまとめ

①課題の重みづけ

第１回地域別ワークショップにおける各地域の評価、新市建設計画を基に 26 の課題を設定し、重要と思う課題を３つ抽出した結果を点数に換算しました。

（一押し：３点、二押し：２点、三押し：１点で換算）

課題	千丁	坂本	八代	泉	東陽	鏡	全体
1.川や海のきれいな**水辺の自然環境**を守り育むべきだ	6	15	16	10	10	7	64
2.森林などの豊かな**緑の自然環境**を守り育むべきだ	0	9	1	6	13	0	29
3.**公害**の抑制、**ごみ**の減量化など、**地球環境**に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	13	7	13	1	3	6	43
4.**農産物のブランド化**や**ツーリズム**、**地産地消**などにより農林水産業を活性化すべきだ	14	2	13	5	13	23	70
5.**担い手の育成**をはじめ、農林水産業の**経営基盤**の強化と**生産基盤**の整備を進めるべきだ	5	8	3	0	11	5	32
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした**九州の物流拠点**を形成すべきだ	1	0	2	0	0	0	3
7.新技術や生産技術の向上により**工業を活性化**すべきだ	4	0	0	0	0	0	4
8.企業誘致や地場産業の振興などにより**雇用の場を創出**すべきだ	12	35	21	20	11	20	119
9.魅力と賑わいのある**中心市街地**、**商店街づく**りを進めるべきだ	4	1	9	0	2	9	25
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、**魅力ある観光振興**を進めるべきだ	1	3	3	18	4	4	33
11.**道路の整備**やバスや鉄道などの**公共交通の利便性**を高めるべきだ	1	13	1	9	4	9	37
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの**豊かな心を育む教育**を進めるべきだ	8	6	27	10	8	10	69
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に**生涯学習**や**スポーツ**を行う場や機会を充実すべきだ	16	8	6	2	1	0	33
14.**歴史や文化**を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	8	0	13	0	5	0	26
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して**子育て**できる環境を整えるべきだ	9	6	12	13	11	7	58
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが**健康で長生きできる社会づくり**を進めるべきだ	3	0	4	7	0	9	23
17.地域の特性やニーズに応じた**医療体制**を作り上げていくべきだ	0	4	13	1	7	6	31
18.**高齢社会に対応**した支援の仕組みを作り上げるべきだ	0	18	7	8	3	6	42
19.**障害**などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	2	7	16	0	1	2	28
20.安全で快適に暮らせるように、**道路や公園、下水道**などの生活基盤を整備すべきだ	2	1	14	8	5	7	37
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの**災害に強いまちづくり**を進めるべきだ	5	12	2	8	0	2	29
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって**防犯や防災**に取り組むべきだ	8	6	15	4	1	1	35
23.**ボランティアやＮＰＯ**の活動を活発化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	9	2	4	0	0	2	17
24.地域の連携と交流を活発化させ、**住民主体の地域づくり**を進めるべきだ	1	6	6	12	3	4	32
25.行政の取り組みにもっと**市民の声**（意見や提案）、**市民の参加**（活動）を取り入れるべきだ	2	3	11	3	1	2	22
26.行政サービスや情報提供など、**便利な情報化社会**を作り上げるべきだ	3	0	0	0	2	1	6
27.その他	3	1	3	0	0	3	10

地域別の課題の重みづけの傾向を以下に整理します。

全体	・各地域で共通に「雇用の場の創出」が課題としてあげられており、八代市にとって大きな課題となっています。 ・次いで、「農産物のブランド化」や「担い手の育成」などの農林水産業の活性化、「川や海の水辺」や「森林などの緑」の自然環境の保全が重要な課題としてあげられています。 ・さらに、豊かな心を育む「子どもの教育」、「子育て環境の整備」、「高齢者」や「障害者」の福祉の充実が課題としてあげられています。
千丁地域	・「生涯学習やスポーツ」が大きな課題としてあげられており、他地域にはない特徴となっています。 ・い草の低迷を背景とした「農産物のブランド化」、川や水路などの「ごみ」、若者の定着のための「雇用の創出」が課題としてあげられています。 ・次いで、「子育て環境の整備」や「ボランティアＮＰＯの活動の活性化」、「歴史や文化の継承」、「防犯・防災」など幅広く課題としてあげられています。
坂本地域	・主要な産業がないことを背景に「雇用の創出」が最も大きな課題としてあげられています。 ・「高齢者福祉の充実」、球磨川などの「水辺や緑の自然環境の保全」、次いで「道路の整備」、豪雨などからの「災害に強いまちづくり」など、高齢化を背景とした福祉をはじめ地理的な条件による道路や災害など幅広く課題としてあげられています。
八代地域	・豊かな心を育む「子どもの教育」が大きな課題としてあげられており、他地域にはない特徴となっています。 ・次いで、「雇用の場の創出」、「水辺簿自然環境の保全」、「障害者福祉の充実」が課題としてあげられています。 ・また、他の地域に比べて「防犯や防災」、「道路や公園、下水道の整備」、「循環型社会の形成」、「農産物のブランド化」、「歴史や文化の継承」、「医療体制の整備」、「子育て環境の整備」など幅広く課題があげられています。
泉地域	・「雇用の創出」が大きな課題としてあげられており、次いで恵まれた自然環境と歴史や文化を活かした「魅力ある観光振興」が他地域よりも大きな課題としてとらえられています。 ・人口の流出や子どもの減少を背景に「子育てへの支援」が課題としてあげられたほか、「住民主体の地域づくり」も課題としてあげられています。
東陽地域	・水辺や緑の「自然環境の保全」、農産物のブランド化や担い手の育成など「農林業の活性化」が大きな課題としてあげられています。 ・次いで、「雇用の場の創出」、「子育て環境の整備」が課題としてあげられています。
鏡地域	・「農産物のブランド化」や「雇用の場の創出」など、産業の進行が大きな課題としてあげられています。 ・豊かな心を育む「子どもの教育」、「賑わいのある商店街づくり」、便利な「バス交通の充実」、「健康づくり」など幅広く課題としてあげられています。

②各地域のまちづくりの目標（施策の方向性）

各班のまちづくりの目標に共通する考え方を踏まえ、まちづくりの方向性（目標）を以下に整理します。

ただし、市民主体、協働のまちづくりは、目標実現のために共通する手法として整理しました。

■千丁地域

<table>
<tr><th>１班</th><th>２班</th><th>３班</th><th>４班</th><th>まちづくりの方向性</th></tr>
<tr><td>地球にやさしい千丁町</td><td></td><td>きれいな水辺のまち</td><td>ゴミのない美しい千丁町</td><td>『水辺のきれいなごみのない美しいまち』
自然環境の保全
循環型社会の形成</td></tr>
<tr><td>働きやすい千丁町
魅力たっぷり千丁町</td><td>千丁町のブランド化
（千丁町を売り出せ）</td><td>活気あふれるまち</td><td>楽しく働けるまち</td><td>『魅力あるブランドにあふれ、活気あるまち』
雇用の創出
産業振興（農業・商業・工業・物流）</td></tr>
<tr><td>老若男女（みんな）が暮らしやすい千丁町</td><td>千丁らしい人材</td><td>若い人に伝えたい歴史と文化のあるまち</td><td>歴史が楽しめる町</td><td>『心豊かな人が育まれ、歴史と文化が香るまち』
教育
歴史・文化継承</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>健康で長生きできるまち</td><td>楽しく子育てができる町</td><td>『みんなが健康で生きがいをもって生き生きと暮らせるまち』
健康（生涯学習、スポーツ）
子育て</td></tr>
<tr><td></td><td>快適な環境
安心・安全な千丁</td><td>みんなが暮らしやすいまち</td><td>高齢者が安全安心、利便に暮らせるまち
災害に強い町</td><td>『安全安心で便利に暮らせるまち』
生活基盤の整備
公共交通の充実
安全安心</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>みんなが助け合えるまち</td><td>人が活きるまち</td><td>市民主体、協働のまちづくり</td></tr>
</table>

■坂本地域

１班	２班	３班	４班	５班	まちづくりの方向性
いつまでも自然が美しいさかもとまち	水と緑のきれいなまち	自然あふれるまち		美しいまち坂本	『いつまでも水と緑あふれる美しいまち』 自然環境の保全
若者が安心して残れるまち	若者であふれる町	生涯坂本人！	活性化させる町づくり 若者に未来を託す町づくり	希望の星	『若者が働き住み続ける活気あるまち』 雇用の創出 産業振興（観光）
年をとっても安心して暮らせるまち	安心な町	お年寄りが主役のまち	高齢者を大切にする町づくり	オールドパワーのまち	『年をとっても元気で安心して暮らせるまち』 高齢者福祉の充実 医療の充実
		宝の子どもを育てるまち	安心して子育てできる町づくり		『心豊かな子どもが育つまち』 教育 子育て
台風・水害にへっちゃらな町	災害のないまち	みんなが安心して暮らせるまち	災害に強い町づくり		『災害に強く安心して暮らせるまち』 防災・防犯
交通が便利で八代中心部に近いまち	便利な町（生活）		便利に移動できる町づくり		『便利に移動できるまち』 道路の整備 公共交通の充実 生活基盤
	楽しい町	手と手をつなぐまち	住民が中心の町づくり	あったかい地域づくり	市民主体、協働のまちづくり

■八代地域

１班	２班	３班	４班	５班	６班	７班	まちづくりの方向性
自然豊かなまちづくり	水辺の自然を活かしたまち	森が育てる川と海	毎日が気持ち良いまち	海や緑を守るまち			『地球にやさしく水と緑を守るまち』 自然環境の保全 循環型社会の形成
若者が働ける・集まるまちづくり	元気な農業のまち	みんなが働ける元気なまち	若者が住みたくなるまち	農業と商店街の活性化計画コラボレートする市	人がいっぱいで活気のあるまち	にぎわいのあるまち	『人が働き、住み、集まりにぎわいのあるまち』 雇用の創出 産業振興（農業・中心市街地・物流）
「命」をつなぐ教育、次世代の子どものため			みんないきいきふれあうまち	未来の明るい子育て	いきいきとした生活のまち		『いきいきふれあう明るい未来へつなぐまち』 教育 歴史・文化 子育て
心豊かなまちづくり	文化を活かしたまち			豊かな歴史に誇りがもてる		歴史や文化を活かしたまち	『豊かな歴史と文化に誇りがもてるまち』 歴史・文化
皆いきいきまちづくり	人が安心して暮らせる豊かなまち	みんな仲良く一生元気なまち 病気になってもへっちゃらなまち	安心な明日があるまち	健康で長生きできるまち	いつまでも楽しく暮らせるまち 安心できるまち	人にやさしい安全で暮らしやすいまち	『いつまでも元気で安心して暮らせるまち』 生涯学習・スポーツ 健康、医療 子育て 高齢者・障害者福祉の充実 医療の充実
安心したまちづくり	安全で快適に暮らせるまち	子どもが安心できるまち		安心して暮らせるまちづくり			『安全で安心して快適に暮らせるまち』 防災・防犯 道路の整備 生活基盤
市民参加型まちづくり	住民が主役のまち	みんなの声（情報）で育つまち	住民が主役のまち	市民協働のまち		みんなで創るまち	市民主体、協働

■泉地域

１班	２班	３班	４班	まちづくりの方向性
地球にやさしいまち	大自然が残るまち	すぎんで泳げるまち	自然と共に生きるまち	『自然と共に生きるまち』 自然環境の保全 循環型社会の形成
発見し広めてもらいたいまち	春夏秋冬にぎわうまち	しゃっもんでん行こごたるまち げーんお茶ばしゃばに広げるまち	豊かな産物が育つまち	『豊かな自然と産物で春夏秋冬にぎわうまち』 自然環境、歴史・文化の活用 観光の振興
活気のあるまち	みんなが働けるまち	再チャレンジができるまち	みんなが働けるまち	『みんなが働け、若者がチャレンジできるまち』 雇用の創出
長生きできるまち	100 才でも安心なまち		安心して住めるまち	『100 才でも元気で安心して住めるまち』 高齢者福祉の充実 医療の充実
	地域の未来を育むまち	子どんがたっしゃかまち	安心して子どもを育てられるまち	『安心して子どもを生み育て地域の未来を育むまち』 子育て 教育
安心して暮らせるまち	安全、安心で快適にくらせるまち	じょぶんかまち 下んし迷惑かからんまち 自由にさるかるるまち	目的地へ近いまち	『災害に強く安心して便利に暮らせるまち』 防災・防犯 道路の整備、公共交通の充実 生活基盤
住民と行政が協働したまち	住民の住民による住民のためのまちづくり	おどんが創るまち	声声声が通るまち	市民主体、協働のまちづくり

■東陽地域

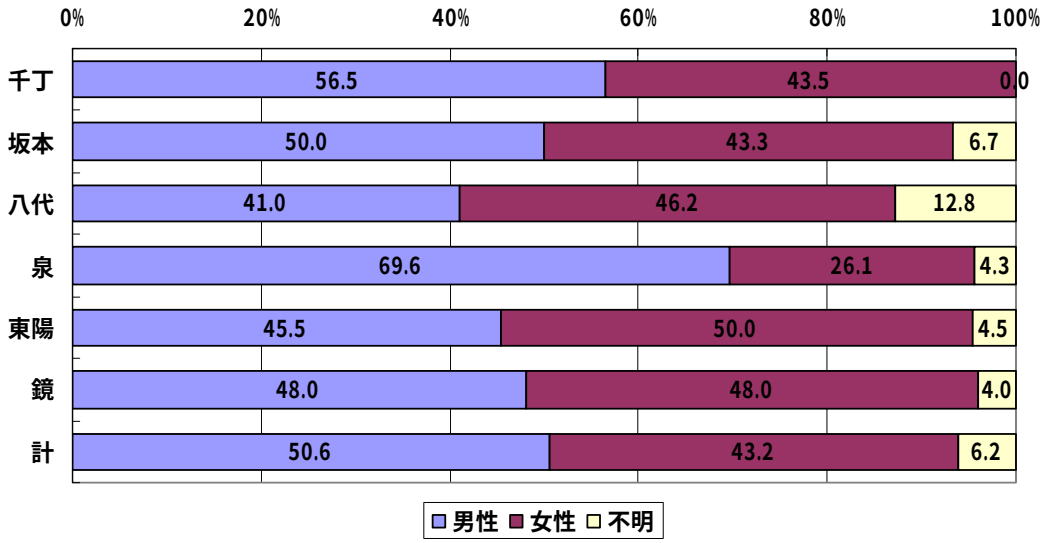
１班	２班	３班	４班	まちづくりの方向性
水・空気・風・緑がおいしいまちとうよう	ホタルがよみがえる自然が宝	空気のきれいな森づくり	自然を大切にするまち	『水、空気、風、緑を大切にするきれいなまち』 自然環境の保全
活力と癒しのまちとうよう	輝け！人があふれ､働く魅力のあるまち	若っカモンが集まるまち 生姜御殿の並ぶまち	若者が働きがいがあるまちづくり	『若者が働き集まる魅力あるまち』 雇用の創出 産業振興（農林業、観光）
	古き良きものを発信するまち			『古き良きものを発信するまち』 観光、ブランド 歴史・文化
安心と笑顔のあるまちとうよう		命を救える町 笑顔で子育てできる町	誰もがいきいきと住みよいまち	『誰もが笑顔で活き活きと安心して暮らせるまち』 教育 子育て 高齢者・障害者福祉の充実 医療の充実
		暮らしよい東陽町		『便利で安全な暮らしよいまち』 道路の整備 公共交通の充実 生活基盤 防災・防犯
		みんなでつくるまち		市民主体、協働のまちづくり

■鏡地域

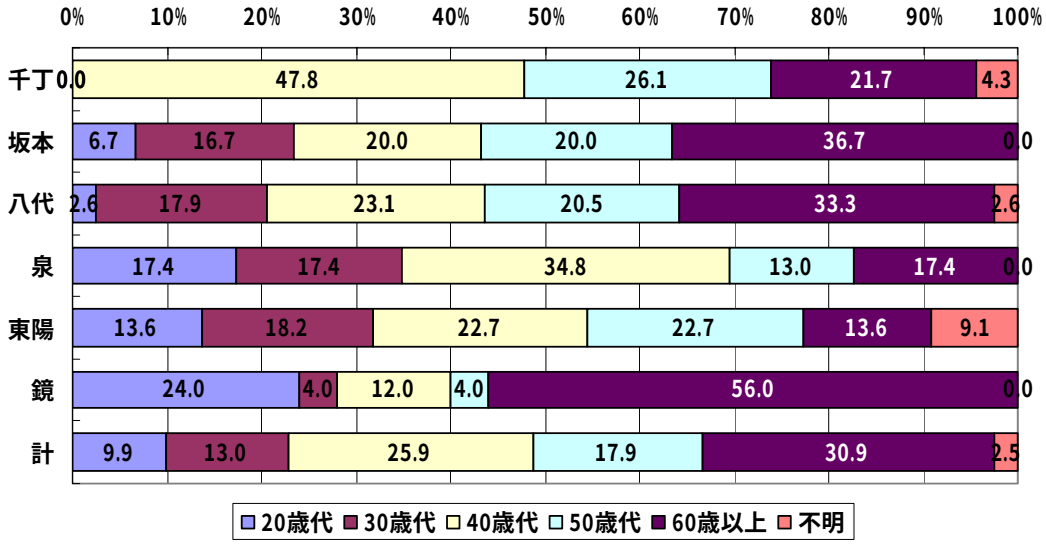
１班	２班	３班	４班	まちづくりの方向性
	美しい日本へ　私たちの鏡町から	クリーンなかがみまち		『クリーンで美しいまち』 自然環境の保全 循環型社会の形成
人がたくさん立ち寄るまち 若い人達が根づくまち	鏡町で働こう！働けるまちへ	賑わいのある商店街	働くものの元気なまち	『若者が働き根づき、人が集まるにぎわいのある町』 自然環境の活用 雇用の創出 産業振興（商店街、観光）
農業が元気なまち	夢よ　もう一度	魅力ある農産物のかがみち		『魅力ある農産物で農業が元気なまち』 農業の振興
安心して年を重ねられるまち	みんなが活き活きと元気なまち	長生きできる鏡	お年寄り「いらっしゃい」のまち	『安心して年を重ねられる活き活きと元気なまち』 高齢者福祉の充実 医療の充実
子どもを育むまち		心を育むかがみまち	子どもが輝くまち	『心豊かな子どもが育ち輝くまち』 教育 子育て
動きやすいまち		便利で安全なかがみまち	楽しいくらしができるまち	『便利で安全に楽しく暮らせるまち』 公共交通の充実 生活基盤 防災・防犯
		アットホームなかがみまち	住民が主役のまち それぞれの地域が光り輝くまち	市民主体、協働のまちづくり

（3）参加者アンケート結果

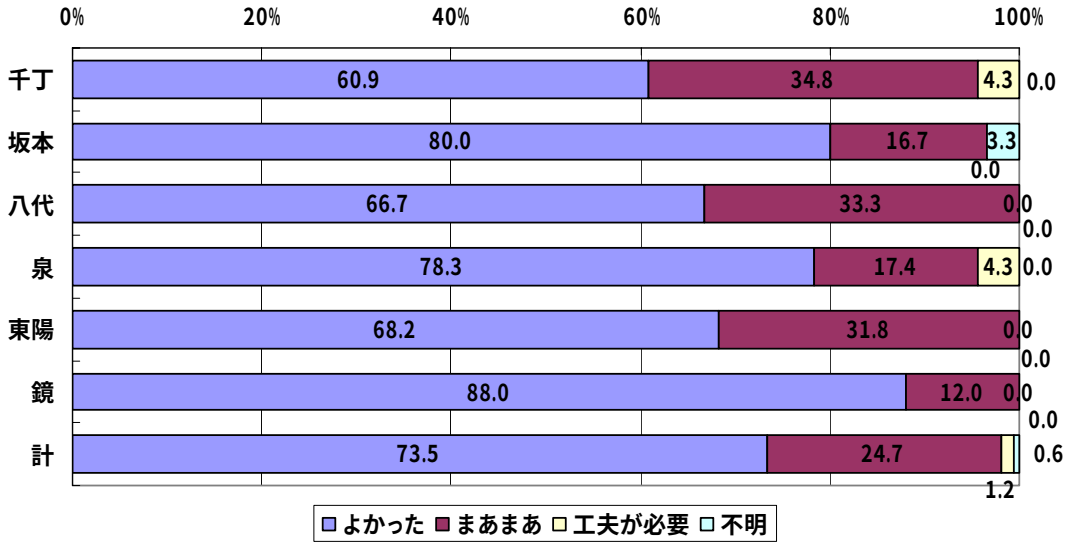
①性別



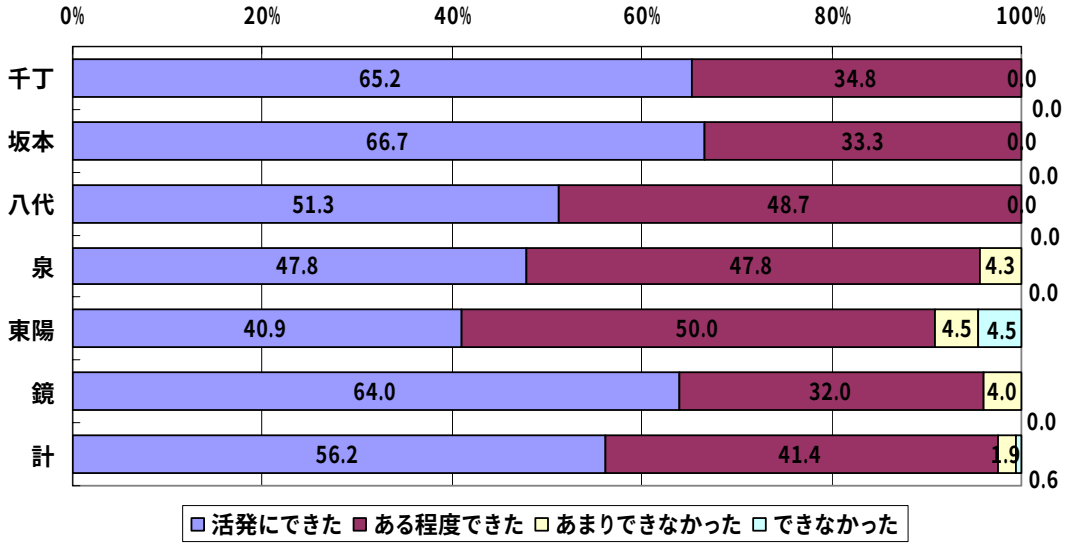
②年代



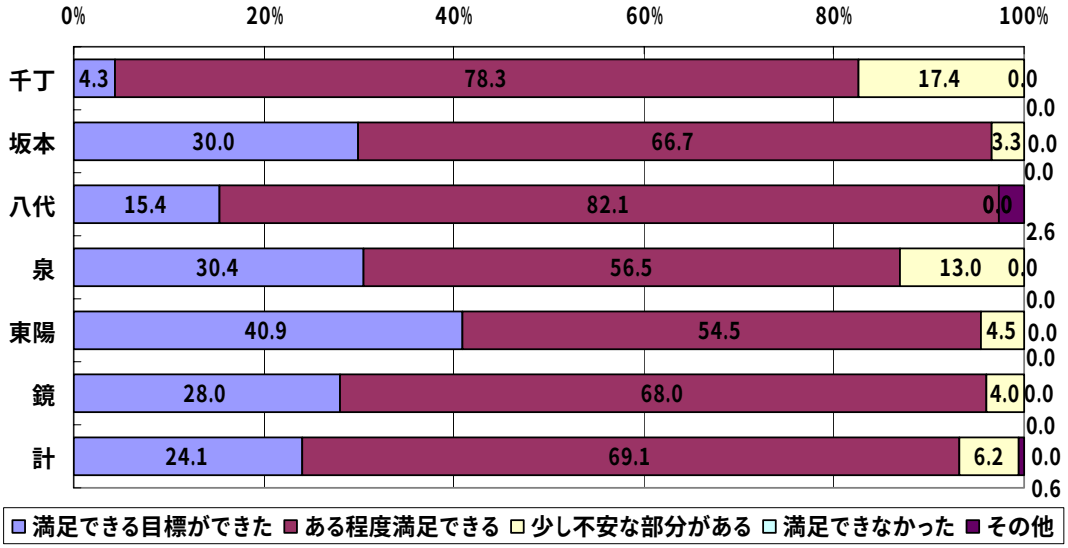
③ワークショップの全体の印象



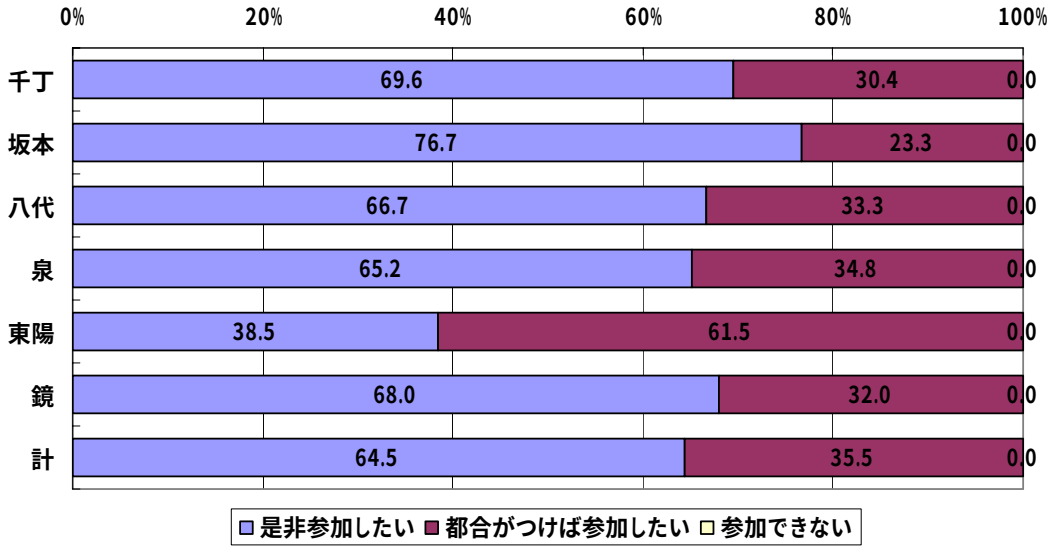
④グループ内での議論



⑤議論した課題や目標



⑤次回の参加意向



４．第３回地域別ワークショップ

（1）プログラム

19：30　１．開会・あいさつ

19：40　２．前回の振り返り

19：50　３．参加者紹介・グループ分け

20：05　４．取り組みを考える

～市民意識調査結果概要～

～プロジェクトづくり～

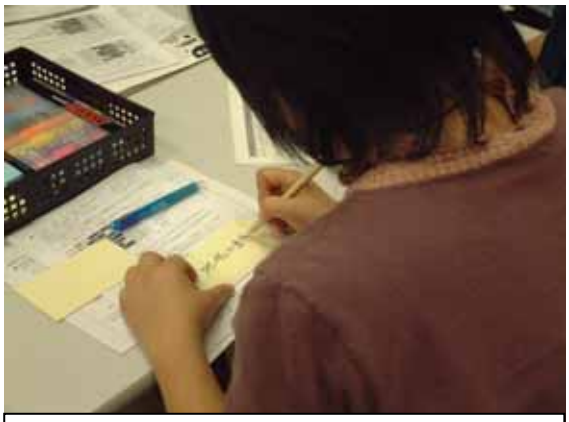
～役割分担～

21：10　5.発表

21：30　6.閉会

前回グループ別に考えた目標を整理した結果を確認しました。
市民意識調査結果の概要を説明し、まちづくりの考え方の参考としました。

整理した目標から関心のある目標にノミネートしてグループに分かれました。



目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入しました。

グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「○○プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。

（2）第３回地域別ワークショップのまとめ

まちづくりの方向性（目標）の実現のために検討された取り組みのアイデアとまとめられたプロジェクトを以下に整理します。

■千丁地域

まちづくりの方向性	プロジェクト
水辺のきれいなごみのない美しいまち ・自然環境の保全 ・循環型社会の形成	ゴミ清掃プロジェクト ・町内一斉空き缶拾いを年１回でなく、２～３回に ・また、各区でも独自に年１回行う ・熊本市の江津湖の清掃ボランティアのような企画で、夜狩川、八代肥川などの比較的大きい川での清掃を行う ゴミ減量化プロジェクト ・商店でも資源ゴミの回収ができるようにする（リサイクル） ・ペットボトルや発泡スチロール等、売り物の入れ物を考えてほしい ・分別の難しいごみ、複合のゴミの収集をも考える ・市のごみ袋が高いとの見方があるが、もう少し安くしてもらったらその袋に入れるごみが多くなるのではないか ゴミ監視パトロール ・河川の土手等でのごみの不法投棄の監視役を作ってみてはどうだろうか ・ＪＡ、商工会、行政、部落など各団体から環境美化推進員か監視員なるものを作り、町内美化、河川の美化推進監視をやる（強い権限をもつ） ・今でも家庭のごみを川辺に捨てる人がいるそれを監視する人がほしい 逆転活用プロジェクト ・堤防の内側の川の利用する。ボート等を置く、堤防の上をサイクリングできるようにする ・新幹線脇の三角地に季節の花を植える 下水道整備計画 ・下水道整備で家庭排水が河川に流れないようにする
魅力あるブランドにあふれ、活気あるまち ・雇用の創出 ・産業振興 (農業・商業・工業・物流)	千丁宣伝し隊 ・予算 500 万円、市民参加１口／１万円 ・千丁のブランド品等の紹介ビデオを作り PR する ・千丁（八代）のイメージを上げるため、広くコマーシャルする ・元気が出る千丁づくり ・畳表を特集した番組を作ってもらう（作る人・畳表の良さ） 千丁よび隊（呼・予備） ・農業体験をメインにした修学旅行を他地域に呼びかける ・農業体験型学習のメッカとする（全国から人を呼び込む） 千丁の達人づくり ・子ども（小学生）にイ草の植付け→刈り取り→製品火を体験 ・健康をテーマのブランドを発見・発明する研究（イキュベータ） ・ブランド確立するための指導人材の育成先進地等での研修 ・畳表といえば千丁町の〇〇畳！（広島→ビンコ畳） ・農業の達人を作る 企業誘致 ・県、国等の出先機関を進出させる ・人、物、金が集まるように工夫（新八代駅～千丁駅） ・周辺地域にない、新たな産業（企業）の誘致 ・千丁に大学（農、人材等）・研究所（バイオ等）を誘致する 千丁のフェロモン ・他の産地にない、先進的、独創的な取り組みを行う ・野菜の減農薬を地域で推進するために、フェロモントラップを地域全体で取り組む

心豊かな人が育まれ、歴史と文化が香るまち ・教育 ・歴史・文化継承	千丁学伝承プロジェクト ・地域の中で各分野の名人に集まってもらい、多種多様な講座を設ける ・食、古くから伝わっている食べ物の伝承会みたいなものを行う ・お年寄りの方が話す千丁のことばの伝達（千丁弁で会話しようの会開催） ・干拓によってできた地域であり、干拓の歴史等を調べると、肥後の歴史がおもしろくなってくる ・郷土料理の伝承（お年寄りと子どもの交流） 心を育てるプロジェクト ・老人の方と子ども達とのふれあい ・いじめ、相手を思いやることが分かる子ども向けの劇などの開催 ・本物の芸術にふれる機会が安く開催される ・若い子育てを手伝うボランティアの育成 千丁安心安全プロジェクト ・飲酒運転の取り締まりをジャンジャンすべし ・防犯パトロールはおおむね好評 ・声かけ運動（あいさつ運動）子どもの安全、ご近所などとつながりを図る イグサＰＲプロジェクト ・イグサ栽培の実習、観光で訪れた人にイグサ栽培の体験、また、製品紹介などの施設があれば（千丁に来ればイグサが分かる） ・手織り（イグサ）をもっと普及 ・千丁の町内案内人（ボランティア）を設置 ・イグサ発祥の地を紹介するため、観光案内ボランティアを育成 ・修学旅行の見学地にもなればＯＫ 生きがい発表プロジェクト ・町内体育祭は、保育園と幼稚園の運動会と一緒に、１日で済み、また楽しい。
みんなが健康で生きがいをもって生き生きと暮らせるまち ・健康 （生涯学習、スポーツ） ・子育て	みんなで楽しく健康づくりプロジェクト ・スポーツ施設など充実しているので、色々な大会などもっと活用分野を増やして使用する ・ニューポーツのような、誰でも参加できるようなスポーツ大会を毎月開催する ・みんなで楽しくできるスポーツをやってみる ・若い時期からの健康診断 みんなで「寺子屋」プロジェクト ・楽しく子育てするために、地域にある空き地等で子ども達が遊べる場所をつくる ・体験型学習（寺子屋的） ・村の老人との触れ合い、例えばおもちゃ、竹細工等を作る ・他人の子どもでも悪いことをしたら注意できるようなまちづくり 生きがいプロジェクト ・公民館教室が３年経つと自主教室になるので、それを公民館教室として続けてもらいたいと思う ・校民間講座の活用 ・仕事をしている人でも参加しやすい生涯学習を考える ・「健康で生きがいをもって生き生き暮らせる」を目標に老年若年関係なく色々なことに日々精進する
安全安心で便利に暮らせるまち ・生活基盤の整備 ・公共交通の充実 ・安全安心	

■坂本地域

まちづくりの方向性	プロジェクト
いつまでも水と緑あふれる美しいまち ・自然環境の保全	クリーン作戦 ・県道とＪＲが接している面積が坂本町に非常に多いので、ＪＲと話し合い、県道側の部分に季節の草花を植栽してみてはどうか ・国道 219 号の投げ捨てごみ（駐車スペースがある程多量)。しかも雑草が多いほど多いのは、地域の努力次第で除草も ・林道、作業道が整備されるほど不法な投げ捨てが目に付く ・川や山にゴミを捨てない！（啓発教育） ・地区別に年に２回ほど川の清掃を行っているが、ほとんど環境に気を付ければきれいになると思う ・環境についてまだ認識が甘いようである（例えば雑草などは川に捨てる） ・初めに、個人個人が水、緑の現状をしっかり把握する 資源活用プロジェクト ・鳥自由保護保護区が広く、期間が長く、シカ、イノシシ等の繁殖が多く、畑、植林との被害が多く見られる ・有害獣の駆除を町全体で取り組み、農作業への意欲を！ ・地域を誘導して放置畑を管理する 名所作り大作戦 ・間伐材等を利用して、生活感のある物を作り、他との交流を深める ・自然を活かし、他地域にないものを開拓する、個性を活かす ・登山等ができる道を整備し、他からも来られるような軽い散歩道等の遊歩道を作る ・公園などを作り、自然とふれあうチャンスを増やす ・滝の名所を作る ・湧水や井戸があるので名水にする ・球磨川を活かすＮＰＯの組織づくり、イベントの開催 ・川遊びを利用して、子どもやお年寄りの人たちとバーベキュー等ができる場所を作る 環境保全プロジェクト ・河川工事で自然への配慮（今以上） ・森の手入れ、川の掃除等に補助金を出す ・家庭排水（汚水）を川に流さない（合併浄化槽の普及）
若者が働き住み続ける活気あるまち ・雇用の創出 ・産業振興（観光）	球磨川の笑顔をとりもどそう ・球磨川を早く還して（瀬戸石ダム撤去） ・球磨川沿岸に観光水車をたくさん作る（水力発電にもなる） ・自然資源を活かした観光素材の発掘・清流と空気がおいしい環境が良い地域で、八代市内と人吉市内に近い場所であることをもっとＰＲすべき ・球磨川のよく見える場所に保護所（ホテル）を建設し、全国から人が来るようにインターネットでホームページの配信をする ・球磨川の水を利用し、リサイクル工場を建設していろんな物を再生品化する ・工場から出る熱水で温泉も無料化する ・山や川、海などの自然環境を大切にし、自然と調和し美しい景観を保つ 坂本町民を大雇用 ・自然を活かせる企業誘致。税の優遇などする雇用 ・坂本にも超一流企業の進出を（八代だけでなく坂本にも！ＩＴ企業） ・企業の誘致（坂本地域に限らず） 安心・安全な農業づくり ・農産物（山林の）を使ったおいしいものを売り出す ・完全無農薬農業 ・１戸１名運動 ・創出 100 人販売加工、運搬 ・山を切り崩し、牧場、農場を作り、自給自足および農産物の販売で坂本町が潤うようになる ・地元ならではの農産物、生産物で会社を設立する（温泉センター等で知名度を

	上げる） ・最近では棚田地が不毛となっており、農地の拡大をはかり所得の増産を考えていったらどうか 永住できる住まいを！！ ・山を切り崩し、広大な土地を作り、若者向け賃貸住宅を作り、八代のベッドタウンにする ・空家（古民家再生）を利用して若い人たちが住居として利用できるようにできないか ・木材加工工業、創出 150 人 賞品大作戦 ・地元に残って生計を立て、家庭を持って住んでいる人にお祝いを出す ・県外から帰ってこられた方にお祝いを出す ・地元に住んだ年数によって賞品を出す その他 ・坂本から有名人を出す（スポーツ選手、歌手）
年をとっても元気で安心して暮らせるまち ・高齢者福祉の充実 ・医療の充実	外さん出かける大作戦！ ・へき地の交通手段として、福祉バスの利用 ・元気でいる＝寝ついたりしないために、外へ出かけよう。 ・積極的に社会に交わるための「生きがい作り」を進める！趣味を持たせる！ ・病院へ行く、諸々の行事に参加するときなど交通手段の確保 ・健康指導、相談、検診、健康づくりなどを充実させ、年をとっても元気でいるために病気にならない予防をする どぎゃんかして止めんばんですプロジェクト！ ・年金制度の見直し。 ・10 年後、20 年後集落の姿を見据えて集落のあり様を考える ・個人主義、利己主義を止めよう！昔の良き人柄、素朴さを取り戻す 火番まわり大作戦！ ・家から出れない人とのコミュニケーションを図る（参加できない人は種々の行事に参加するが、そうでない人は〇という現状があるので） ・地域の郵便局は絶対に無くさないでほしい ・お年よりも地域の宝、年をとっても安心して暮らすために地域で目配り、気配りを ・木々子、小崎、馬廻の「火番まわり」はず～っと続けていく！他の地区も習ってほしい ・いざ！という時の救急体制作り（救急車ばかりでなく、出来る事を取り組もう！＋防犯訓練なども行う）
心豊かな子どもが育つまち ・教育 ・子育て	何が何でもこれが大事！ ・食育 体を鍛える大作戦！ ・ジェットコースター等がない、自然の遊園地を作ってほしい ・サッカーのできて走れそうな運動場（テニス、ゲートボールなども） ・家族で遊べる場所が欲しい ・外で遊べ、お金のかからない場所 ・遊ぶところが欲しい 子どもの交流大作戦！ ・保育園には、八代から来られている人が多いのに、小学校は八代に行ってしまわれるので、八竜になるべく残ってもらう ・保育園の園児が少ないので、合同行事をしてほしい ・公共施設を使用しやすいように！ 仲間を集めよう大作戦！ ・お母さん達が色々な人たちと気兼ねなく話せる魅力ある会を作る ・感謝することを気づかせてくれる催し、機会を作る（例：断食の日を作る） ・映画館を作る。映画を見るために託児所も ・親子それぞれをを対象としたイベント 親が心豊かになる大作戦！ ・お買い物バスツアー（託児所付き）

	・同居大作戦 お金のかからない子育て ・保育料が高すぎる！
災害に強く安心して暮らせるまち ・防災・防犯	自主防災大作戦 ・１人世帯（高齢者）への訪問確認 ・民間人（地域民）での安全パトロール、通報制度 ・青少年の健全育成（声かけ運動） ・防犯パトロール ・地区における防災、防犯への意識の高揚 ・自主防災組織の確立 ・防災組織の強化 ・地域ボランティア、ＮＰＯなど信頼の確立 災害・犯罪を未然に防ごうプロジェクト ・消火栓にて消せる火事 ・大雨でも崩れない山 ・老いても安心な村 ・かさ上げ等、水に浸からない家、道を整備する ・防犯灯の整備。明るいまちにする
便利に移動できるまち ・道路の整備 ・公共交通の充実 ・生活基盤	なんさま道の整備（安心して通行できる） ・国道 219 号の法面補強と拡幅 ・県道中津道八代線の早期全線開通 ・松陵簡易インターの早期開設 ・各市道の整備 ・林道等の整備、新設による迂回路の確保 老後も安心、便利足バスの活用 ・スクールバスを高齢者等が利用できる制度を導入する ・各地域に町内巡回バスを出す ・ＪＲ肥薩線を廃止して鉄道バスを走らせる ・高齢者に対しタクシー割引券を配布してほしい

■八代地域

まちづくりの方向性	プロジェクト
地球にやさしく水と緑を守るまち ・自然環境の保全 ・循環型社会の形成	水の再生大作戦 ・浄化の完全整備 ・市民の皆さんに協力を呼びかけ自分の住んでいる水辺の清掃に関心を持たせる働きかけ ・水をきれいに＝石鹸使用、合成洗剤を使わない（リサイクル） ・水を汚さない暮らし方（合成洗剤を出来るだけ使わない、廃食油を流さない、農薬を減らす、川にごみを捨てないなど） ・地元で作った石鹸を地元で使う運動（地産池消える） ・水質をきれいにするためと、空気中の二酸化炭素を減らすため、市の公園化された水辺にケナフを植える 緑を大切にするまちづくりプロジェクト ・まちの緑化の推進 ・自然環境をベースにしたまちづくり 環境学習プロジェクト ・自然の大切さを知るために、大人、子どもの自然体験学習を行う ・環境について学ぶ姿勢を持つ ・水の汚れについての学習（子ども達と）環境学習 ・自然に関心を持つ（山や川、鳥や花、自然を知ることで命の大切さを知ってくるのでは） ・環境の大切さをアピールするために、各地域のすばらいしい場所等の写真展、ビデオ展を開催する ・八代海、球磨川等の水質の現状を市民に知らせ、環境問題に取り組む ごみ減量プロジェクト ・ごみ問題を一人一人考える（循環型社会の形成)。ごみになるものを出来るだけ持ち込まない、分別をきちんとする、生ごみなどの資源化をお願いしたい ・資源リサイクルの徹底 ・ごみ減量化のためにレジ袋を使わない、マイバック運動を勧める
人が働き、住み、集まりにぎわいのあるまち ・雇用の創出 ・産業振興 (農業・中心市街地・物流)	新産業への期待 ・企業（一流）誘致のために、まずは民間の投資企業への八代市のアピール（土地の利用、税の優遇など） ・八代港の活用、振興 ・産業と働き口の改革 ・若者が働ける企業を呼ぶ ・若い人が定住するような雇用の場 ・企業の誘致 日奈久のまちづくり ・日奈久のまちづくりの鍵を作り出す ・町全体が一つになるように話し合いをする ・観光地（日奈久）の活用、ＰＲ、振興（住民の力） ・知人などを使った日奈久を全国的にアピール ・八代の観光振興、人が集まる、文化、歴史、環境のアピール。村に自分たちで宝物（発見）ツアーを無料で実施 ・話し合いの結論はまず実行する 自慢できる特産物づくり ・農業と自然と市民 ・中心市街地にこだわらず、もっと農業へ投資するシステムを作る（八代の農業への市民のファンドプラス、企業のファンド） ・農産物の市民アピール 本町の活性化 ・本町中心部を活気づける ・本町を使った市民の産業評価
いきいきふれあう明るい未来へつなぐまち	古きを知ろう大作戦 ・八代市は少し文化面が低いのではないかと思います

教育 ・教育 ・子育て	・熊本市に次ぐ八代として歴史のあるまちづくり（城下町の八代、歴史もあり、昔は熊本より歴史のあるまちとして栄えたとのこと） ・文化、歴史に気軽にふれあえるような機会の提供を！提供の方法に工夫を！ 第二の学校プロジェクト ・子どもの交流会館をつくるべきだ ・学校だけが学びの場ではない ・学校以外に親が語れる場所、子どもが集まれる場所を増やす ・八代の文化を体験する機会を 豊かな心を育む交流プロジェクト ・掲示板を市役所に設置する ・「親子で楽しめる生の舞台」を見られる機会を増やす ・子どもたちが優しい心を持って育つために、たくさんの人、物、触れ合う場をもっと増やす ・施設訪問の頻度を高くする ・勉強といった“学び”よりも同世代、異世代での交流、ディスカッションの場をつくる ・年代を越えて交流を進めるために小学校の空き教室を利用する（デイサービスだったり老人クラブだったり、イベントなど一緒にする） ティーチャーズ、ティーチャー ・学校を卒業してすぐ学校の先生になるべきではない（もっと他の経験を積んでもらう） ・教師が学校以外の社会と触れ合う機会を増やす 大人のしつけ大作戦！ ・子どもたちが健やかに育つために“親”の教育を充実させよう ・子どものしつけには大人のしつけが必要（しつけは先生が子どもにするのではない） ・男女が同様に家事、子育てをしていくために、女性はもっと声を大にしよう、女が男をしつけよう
豊かな歴史と文化に誇りがもてるまち ・歴史・文化	子どもの感性育成プロジェクト ・未来の子ども達のために社会教育の面から「命の大切さ」をどのように教えたらよいか ・歴史ある伝統芸能が生活の中に多く生きており、今子ども達にしっかり伝えるため老若男女の交流を ・感性の高い子どもを育むため世界的な（国内）芸術を鑑賞させたい ・社会教育の面から子育て問題、研修は重ねているが、地域に反映される具体的な取り組みをしたい 歴史・文化のネットワークプロジェクト ・次の世代のためにも歴史を振り返りそれを大切に活かして欲しい ・まちづくりの拠点として地域の文化財を活かす ・歴史・文化を見る、知るためのルートマップを作成する ・市民一人一人が八代の文化（財）の案内者となる ・歴史・文化を充実させるために情報や人のネットワークづくりを行う（例えば住民による自主企画コンサート） ・魅力的なまちを作るために歴史資源（歴史的な建造物）を生かす（保存・再生・利用）すべき 八代文化発信都市づくりプロジェクト ・将来を担う子ども達にジャンルを問わず様々な芸能、芸術を見聞きできる機会を増やせるよう大人が努力すべき ・演劇などの鑑賞の機会が少ない ・大人はコンサートにどこにでもいけますが子ども達のために八代のホールで鑑賞できるプログラムを考えてほしい ・市民が使いやすい文化施設を目指す ・文化施設をもっと充実して欲しい ・文化の拠点づくりを行うために一流又は有名人によるコンサートを八代で行う

いつまでも元気で安心して暮らせるまち ・生涯学習・スポーツ ・健康、医療 ・高齢者・障害者福祉の充実 ・医療の充実	健康プロジェクト ・医療の充実 ユニバーサルデザイン作戦 ・障害者福祉制度の充実を図る ・高齢者・障害者に対する思いやりのある町へ（障害者自立法の改正） ・障害者・高齢者負担の見直し ・高齢者・障害者用のバス乗り物を通すこと（支援をする） 空き教室利用作戦プロジェクト ・地域のつながりを作っていく ・高齢者とのかかわりを大切にすること ・空家・空き教室の解放し、高齢者と小学生・中学生の交流の場を ・空家（店）等を使って老人と子供の集う場を作る 町内みんな楽しい行事プロジェクト ・町内の運動会などへ子どもも親もおじいちゃんおばあちゃんの参加ができる行事（あとで食べる／飲む） ・町内の子ども会の育成（夏祭りなどをやり大人はあとで楽しく飲む） ・高齢者、子どもを入れて地域の連携を深める楽しい交流会を企画する 放課後・夏・冬休み子育てプロジェクト ・学校教育の充実 ・豊かな子どもを育てたい ・児童館（母子家庭相談・放課後・子どもが安心して過ごせる場所）を作る ・子ども達の遊び場をつくっていく ・小学生の預かり事業の充実と補助 ・ＳＳＰ（子どもの安全）スクールセキュリティパトロール（植柳小は４年目でチームを組んで毎週月曜～毎週金曜までやっています） 地域生涯プロジェクト ・日奈久馬券場でなくその他に健全なスポーツ場や地場産物物産館等を 知っとるもんプロジェクト ・障害者のことを知る ・障害者、高齢者のことを知る機会を増す うまいもんプロジェクト ・食と農について又自然の良いところを知る
安全で安心して快適に暮らせるまち ・防災・防犯 ・道路の整備 ・生活基盤	連携による安心・安全の確保 ・伝承遊び、日本の伝統、けんだま、こまその他。子どもと大人とのふれあいで健全育成につなげる ・隣組の連携を深め、連帯意識を高め、犯罪に対し、地域の目を養う ・安全安心の活動実践する防犯対策 ・防災防犯の情報共有 地域力を高め、安心安全 ・防犯組織の活動 ・防犯組織の確立を行い地域の力を高める 地域（校区）安心安全計画 ・地域住民によるハザードマップの作成（地域をよく知る人が、地域の安全を考える） ・安全マップの作成 ・大規模地震を想定した「何をすべきか」を考えること 子どもから高齢者まで、安心安全なまちの実現 ・防犯パトロール実施 ・子どもを守るパトロール ・地域住民による防犯パトロールの実施 食の安心安全 ・食の安全のために化学物質を排除すること ・食育を進める 行政の役割、ハード整備 ・防犯機能を備えた公園整備 ・外灯の整備

■泉地域

まちづくりの方向性	プロジェクト
自然と共に生きるまち ・自然環境の保全 ・循環型社会の形成	泉を知ろうプロジェクト ・泉町の自然環境を知ってもらうため、未利用の施設や既存の施設を利用して手づくりの「自然博物館」をつくる ・環境学習の場に（球磨川の干潟とセットで） ・地域の人達も自分たちの住んでいる泉の自然をもう一度しっかり知る必要がある ・自然の大切さを知るエコツーリズム（自然環境を資源とした観光）の実施 山を守るプロジェクト ・鹿から山や水を守るために（鹿の撲滅） ・自由に山林に入れるようになれたらいい（今の山はダニばかりでは入れない）鹿の駆除 ・山の手入れのため、森林の整備（鹿などによる杉ヒノキの被害を防ぐ補助金アップ） ・森林資源（特に自然林）の保護広葉樹等のオーナー制度を導入する 水プロジェクト ・渓流の水不足を解消するためにダムなどの建設に配慮してもらう ・各家庭からのごみ、排水を抑える ・家庭からの水質浄化のため、上下水道の整備を促進する ごみプロジェクト ・泉地域の奉仕作業のときに大人だけでなく、子どもたちもごみ拾いなどをしたらきれいになる ・山林を大切にする（ごみのポイ捨て、不法投棄） ・不法投棄を防ぐためボランティアを組織する
豊かな自然と産物で春夏秋冬にぎわうまち ・自然環境、歴史・文化の活用 ・観光の振興	泉のおいしさを売るプロジェクト ・農地の集約化優良農地の保全 ・農産物の地域ブランド化を推進 ・畑などを貸し、農林産物を育ててもらう ・地域の標高差を利用した同一産物の長期栽培 ・豊かな山間地の産物を育てる取り組みをする 泉の「ご案内」プロジェクト ・観光振興施策として　観光案内人の養成が必要（ふれあいセンターや各施設に配置） ・グリーンツーリズムのインストラクター養成 誰でも楽にこられるプロジェクト ・観光の振興を図るため道路の整備を進める ・季節的公共交通機関の運行を 『泉はまだまだこれからよ!』プロジェクト ・新しい観光コース等 ・自然探求コースの開発と活用 ・冬でも楽しめるイベント ・特産物の茶を使った料理やお土産品（菓子類）を開発する ・泉にできたおいしいものを食べにこられる取り組み ・滞在型観光の構築（じっとしている） 泉を知ろう、守ろうプロジェクト ・地域内住民での学習会開催（同じ町内でも知らない場所、行事などが多いのでは） ・地域伝統芸能の人的支援（相互）地域外の人がやってもいいんじゃないか 結香さんが（中心に）頑張るプロジェクト ・「ケーブルテレビいずみ」の利活用と視聴 ・とにかくＰＲヲヤマメつかみとり、琵琶など
みんなが働け､若者がチャレンジできるまち ・雇用の創出	

100 才でも元気で安心して住めるまち ・高齢者福祉の充実 ・医療の充実	
安心して子どもを生み育て地域の未来を育むまち ・子育て ・教育	親は安心　子どもはイキイキ大作戦！ ・働く親にとって、延長保育を実施してほしい（核家族でなくても、迎えにいけない家庭もある） ・公立保育園でも延長保育を行い、安心して子育てができる 送って迎えて大作戦 ・シルバー人材等を利用して、高校の送迎を頼めるようにする ・子どもが自宅から通学（高校）できるように、早朝バス等があればとても助かる もうちょい？！かせしてプロジェクト ・泉町から高校通学する場合、自宅から通学できない子どもたちは下宿するか寮に入るかがほとんど多く、下宿は多額にかかり、何らかの補助が出れば親の経済負担も軽くなる（子どもの希望をかなえてあげたい） ・子育てをする中で、教育費がよその地域より高校、大学への進学時、下宿等の費用がいるので、熊本市や八代市中心部に泉町合宿所（泉寮）がほしい ・補助事業の充実　教育費、医療費等の補助額のアップ ・子どもを安心して生むことができるように、子育て支援を充実させてほしい（3人目が生まれたらお祝い金） 僕も私も住民だぁー ・地域行事には住民として必ず参加させる 教えてちょうだいプロジェクト ・生徒は少なくともいいので、ボランティア等の利用で各種の教室を開く ・学童保育として地域ボランティアによる空き教室での開催ができたら（地域の知恵の伝授をする） ・地域の人材を先生として教育に取り入れる（授業や部活動）
災害に強く安心して便利に暮らせるまち ・防災・防犯 ・道路の整備、公共交通の充実 ・生活基盤	

■東陽地域

まちづくりの方向性	プロジェクト
水、空気、風、緑を大切にするきれいなまち ・自然環境の保全	
若者が働き集まる魅力あるまち ・雇用の創出 ・産業振興 （農林業、観光）	若者にお・ま・か・せ・大作戦 ・高速回線を使用した第一産業との提携による新たな販売路開拓。大きなＳＯＨＯ ・農業だけでなく、農業と連携した新たなサービス業の創出 ・ノウハウ伝授教室など、せっかくケーブル網があるのでインターネットを利用した起業等の推進を支援し、若者が働く場をつくる ・農林業で生活を営んでいくために、産物に付加価値をつける（東陽でしか手に入らないモノとする） 東陽の知恵袋大作戦！ ・山林活性化のため山林活動者の育成に努めてはいかが ・水・空気・緑を大切きれいに（ボランティアだけではやりきれない。労賃を出すなどして徹底してやる） ・お互いに相談しあって先輩から良く知らせる ・若者が農業、林業で働き続ける、新たに働けるように先輩達の知恵や経験を伝える教室等を開く！先生は経験豊かな高齢者！ ・清流を戻すために竹炭土産を始めて技術者の育成 行政におまかせ大作戦 ・若者が定住するように居住施設の充実 ・温泉を利用した宿泊施設を作って雇用を創出する ・若者が定住するために、交通費等の援助、職場の斡旋等 良かとこ知って住ませちゃう♥プロジェクト ・死地の活用化 ・農業体験などを学生に体験させ、後継者育成をする ・グリーンツーリズムの一環として空いている農地を無償貸し出し（そのうち定住する！させる！） ・遊林地、空家を利用した田舎体験を軸とするグリーンツーリズムを推進する
古き良きものを発信するまち ・観光、ブランド ・歴史・文化	情報発信プロジェクト ・都市部への観光商品の売り込み ・歴史・文化に関して、東陽で古き良き祭りなどあるので、全国的にメディアを通して紹介してみてはどうか ・ブログを利用して観光情報の発信 案内人を探せ!大作戦 ・歴史・文化の案内人（ボランティア）の育成 ・「町の歴史、文化を知る」勉強会・講座の開設し、歴史や文化を住民にまずよく知ってもらう ・石橋の歴史を語れる人の育成 ・観光案内人を育てる（できれば名物人と言われるような楽しい人。その人を観光スポットに置く） ・よその観光地で見かける案内のボランティアを募り、育成する 広域連携戦略！！ ・観光の広域化（各地域の連携、イベントの開催） ・近隣町ではマラソン大会があるが、東陽町では難しいだろうか クリーン・クリーン作戦！ ・観光地となる史蹟の環境整備 ・目的地までの道路等、行きやすくする ・清掃などのボランティアを募る 発掘あるある探検隊！ ・東陽の歴史・文化を書き込んだウォーキングマップを作成して、ウォーキング大会を実施する ・小さな事も書き記してあるウォーキングマップを作成（できれば子ども達による自然なものができればＧＯＯＤ）

	・各地域にある文化遺産について掘り起こしとその利活用 各地域の組織の育成例)山の神／歯の神／ヒフの神／勉強の神＞まつり／カッパ碑／石橋めぐり
誰もが笑顔で活き活きと安心して暮らせるまち 教育 ・子育て ・高齢者・障害者福祉の充実 ・医療の充実	まずは結婚プロジェクト ・集団見合いで少子化に歯止め 次は子育てサポートセンタープロジェクト ・子育ての環境づくりのために、安心して集える公園の整備を図る ・子育て世代を支援するために、保育園や幼稚園といったこれまでの枠を取り払ったサポートセンターをつくる みんなで交流プロジェクト ・高齢者が安心して暮らせるまち(孤独死)「交流の場づくり」 ・１人暮らし世帯への声かけ ・高齢者・障害者などわけ隔てなく生活できるような、環境をつくれればよい ・高齢者が楽しめる場を作る(送迎バス付き) ・子ども達が安心して暮らせるようにするため、地域の人たちが子どもの顔を覚えてもらって、地域全体で見守ってもらいたい ・「生きる力」を身につけた子どもを育成するために、地域住民の方に講師となってもらい、学校では教えないものを子どもに学んで欲しい 最後までみはなさないプロジェクト ・医療の充実 ・急病（特に子どもや老人）に対応できる、窓口の設置を図る（24 時間体制）
便利で安全な暮らしよいまち ・道路の整備 ・公共交通の充実 ・生活基盤 ・防災・防犯	

■鏡地域

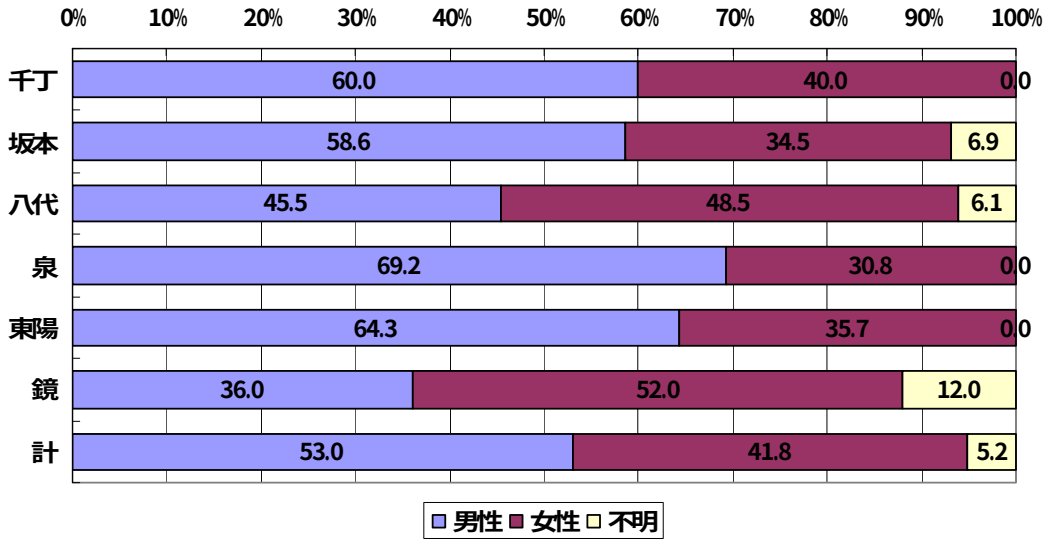
まちづくりの方向性	プロジェクト
クリーンで美しいまち ・自然環境の保全 ・循環型社会の形成	リーダーづくりプロジェクト ・美化意識の継承次代継承に問題あり ・環境リーダーづくり ・環境に対する取り組みの紹介、意識を高める ・監視員（ごみ）が必要 ・地域毎の責任で環境美化の推進（経済援助） ・ボランティア意識の高揚（意識の欠如が多い） クリーン作戦 ・お年寄りの（一人暮らし）木の整備してやる ・ほたるが育つ川（河川のクリーン作戦）住民参加ができる ・大川（排水）の清掃（土砂を取る） ごみゼロ大作戦 ・ごみを減らすためにマイバッグを持つ ・各個人のマナーアップ（タバコ、空き缶ポイ捨て） ・帰宅、ウォーキング中にごみ拾い ・まちぐるみのごみ拾い（年に２回） 花づくりプロジェクト ・四季別に一鉢花を植え、花いっぱいのまちづくり ・各家々の花づくり（家の前をかざる） ・花づくりの技術を教授してもらいたい ・保育園児から学生(小中高)と高齢者による花の交流会をする（花苗の育て方等） ごみ循環大作戦 ・ごみの出ない工夫をする家庭に表彰状 ・生ごみを家庭菜園に使えるようにする ・生ごみ→肥料→おいしい野菜→人々の食卓へ ・生ごみ処理機を各家庭で利用する
若者が働き根づき、人が集まるにぎわいのある町 ・自然環境の活用 ・雇用の創出 ・産業振興 （商店街、観光）	若者雇用大作戦 ・救急総合病院の誘致（雇用の創出） ・若者が働き根づくためには、企業の誘致を行政主導で進める ・工場をもってくる（会社をつくる）（仕事） ・企業誘致を促進するための優遇策を考える（雇用補助金、資産税の長期減額等） ・若者が根づくための施策を行う ＊地元に就職した場合、お祝い金を支給する（スーツ代、支度金等） ＊資格取得への助成を行う ・働く場所を地区等でも紹介する 観光宣伝プロゼクト ・観光地のＰＲと設置（駅等に置く）＊マップの作成　＊ボランティアの育成 ・観光資源の発掘 子づくり大作戦 ・農家の若者に嫁さん探しを協力する（祝い金） ・（縁談に関して）世話焼きおじさん、世話焼きおばさんの復活 ・文化祭も若者の出番があるようにしたい ・若者（声）と会話できる機会がほしい 住んでみたいまちづくり ・住環境の整備（住んでみたいまちをつくる） ・教育環境、自然環境、交通事情、医療施設、文化性の高さ ・人が集まる点から考えれば、住宅地の造成 元気な商店街 ・商店街を活発にし、大いに安売り等して、八代市内への流失を防ぐ ・中大型店の誘致 ・賑わいのある商店街にするために、様々なイベントを実施する ・商店街に人が集まるようポケットパークをつくる ・商店街の活性化のために、空き店舗の活用（貸し出し、フリーマーケット）

魅力ある農産物で農業が元気なまち ・農業の振興	後継者育成プロジェクト ・後継者を育成する ・後継者や新規就農者に希望を与え、活気ある農業を続けるためのセミナーや情報提供を充実させる。 ＰＲ大作戦 ・健康畳表や健康野菜のＰＲ ・イグサの需要を促進するためにもっといろんな場所でＰＲすべき ・地元の人が(農家に限らず)市内に八代の特産物(イグサ、トマト)をＰＲする ・地元農産物の海外ＰＲ ・鏡を復活・確立するために、農産物のさらなるブランド化、ＰＲ促進、新しい特産物の研究 新開発プロジェクト ・鏡町独自の農産物を考える ・新しい特産物の研究 ・もっとイグサの違った使い方を考える グリーンツーリズム ・体験型観光農業を進める 新しい売り先プロジェクト ・流通の確保 キャベツ、レンコン、白菜、カリフラワー、ブロッコリー、オクラ、レタス
安心して年を重ねられる活き活きと元気なまち ・高齢者福祉の充実 ・医療の充実	声かけ、心かけプロジェクト ・一人暮らしの老人等の方に地域住民が声を掛け合う運動をしたらどうか ・働きがいの職場、場所～生きいきとくらせる町 ・施設のボランティア～みんなに喜んでもらえる ・一人暮らしの老人への昼食配布 お年寄り活躍プロジェクト ・元気な高齢者になってもらうために、働ける場、ボランティアなどの活動できる場をつくる “ シルバーワークセンター ” ・お年寄りに生きがいをもってもらう場。学校で経験を生かした「先輩いらっしゃい」等の授業交流。たくさんの経験や知識を生かしてほしい（地域での活動、子どものお世話） 病気心配いらずプロジェクト ・総合病院を是非作ってほしい（すぐ行ける） ・子どもの病気が一番親としては心配 ・一人暮らしの低所得の方に、医療の面などでできるだけ援助してもらいたい 若返りプロジェクト ・いろいろなことができる、楽しめる場所、みんなで集まれるところがあればいい ・若者との交流の場をつくる（地域のことを考えるワークショップの開催やふれあいイベントの開催など） ・軽いスポーツが出来るところがあればいい ・各地域で高齢者の方が集まれる場所または機会を提供してほしい
心豊かな子どもが育ち輝くまち ・教育 ・子育て	かぎっ子０作戦 ・学童保育の充実 市長さん！お願い ・医療費控除の期間をもう少し長くする（現：小学入学前→小３までなど） お父さんかっこいい大作戦 ・親子ふれあいスクール 寺子屋大作戦 ・子どもたちが少なく、友達が少なく、家の中でゲームする子どもが多い ・鏡地区の土曜塾に少し関わってみて、一人一人は素直であるが、多数になるとなかなか大人の注意にも動じない面がある ・子どもの間で上級生と下級生という関係が薄れていると思う（６年生は６年生という自覚がないのではないか） ・子ども達の仲間（友達）づくりをする ・子育てよろず相談所

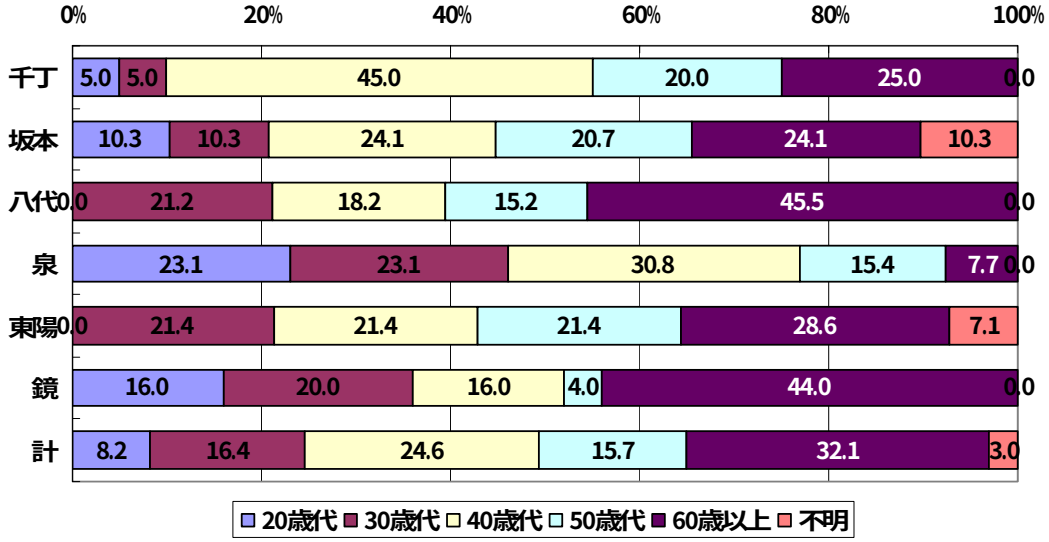
	親育て大作戦 ・親、子どもの結合が必要、また仕事で子供達に交流が少ないので親と子ども、時間があればとことん話し合いをする ・地域の人達とあいさつ（子どもは恥ずかしがり屋もいると思う。大人の方からあいさつすればたいていの子どもはすると思う） ・女の子はかわいい笑顔、男の子はたくましさを育てる ・子どもの両親の人達が集まって話し合いをする パトロール大作戦 ・防犯パトロールを増やす
便利で安全に楽しく暮らせるまち ・公共交通の充実 ・生活基盤 ・防災・防犯	マイカー不用プロジェクト ・幹線バスと地域バスの組み合わせで、八代市内全域、坂本から泉までらくらく移動を実現する ・タクシーの乗り合いのお願い（病院とか市内まわり） ・鏡管内、または市内のバス料金定額化 ・バスの交通路線を増やす、またはそのための道路整備をする 八代大安全プロジェクト ・地震、台風等の災害に備え、災害に対して危険箇所の点検をし、対策をする ・住民防犯パトロール隊を組織する賛同者にタスキ配布（八代防犯パトロールでは散歩や犬の散歩、買い物時につけるだけ） 情報充実プロジェクト ・防災無線の利用を広げる町民催し物：運動会、演芸会、発表会など ・防災無線の規格の統一 ・八代市の一体感と防犯（コミュニケーションづくりに役だつケーブルテレビを全世帯に設置する） 快適生活空間プロジェクト ・小中学校など、通学路には歩道と外灯を設置する ・上水道未整備区域に付設する ・外灯の充実（補助金）（防犯） ・公共下水道を早急に整備する

（3）参加者アンケート結果

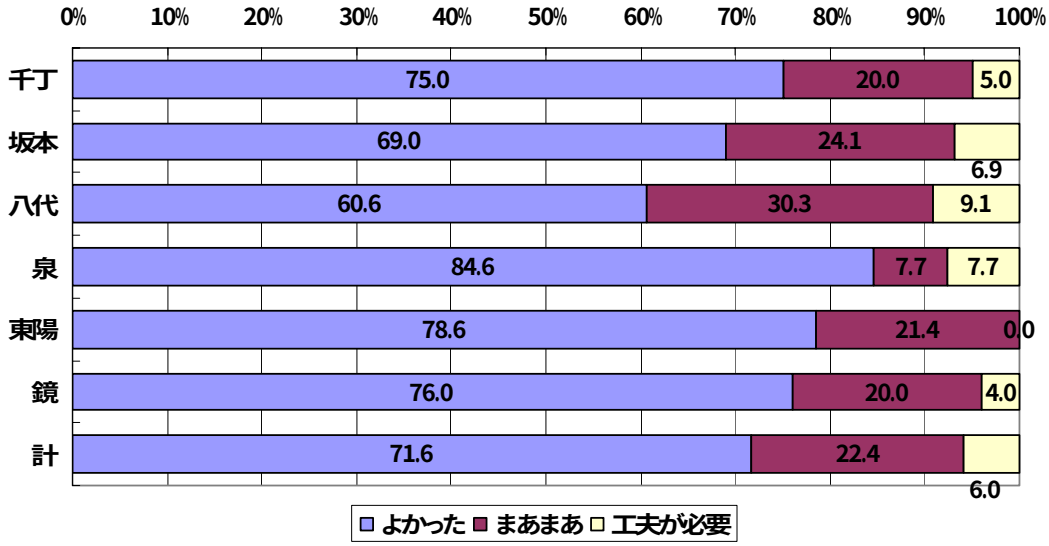
①性別



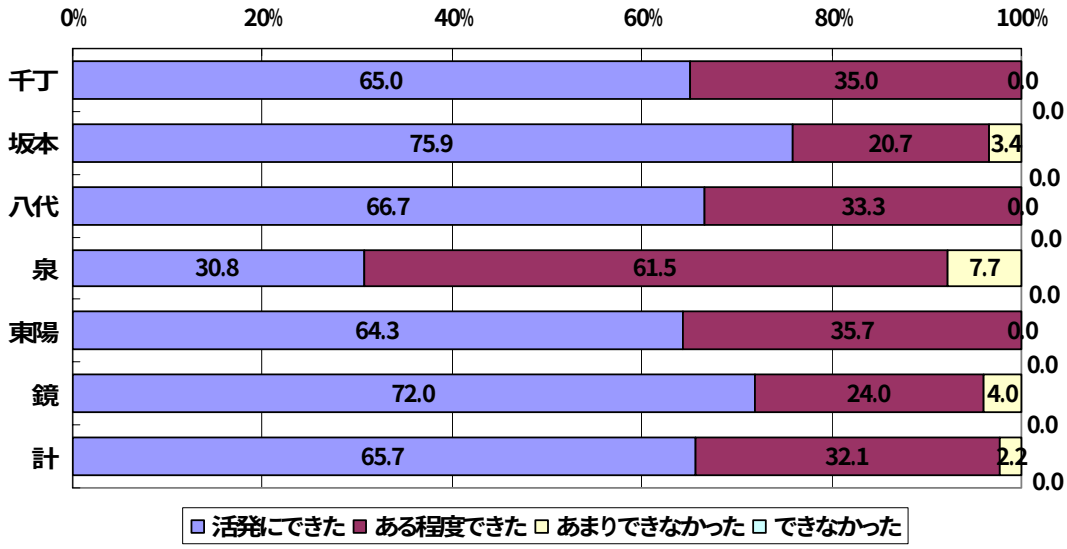
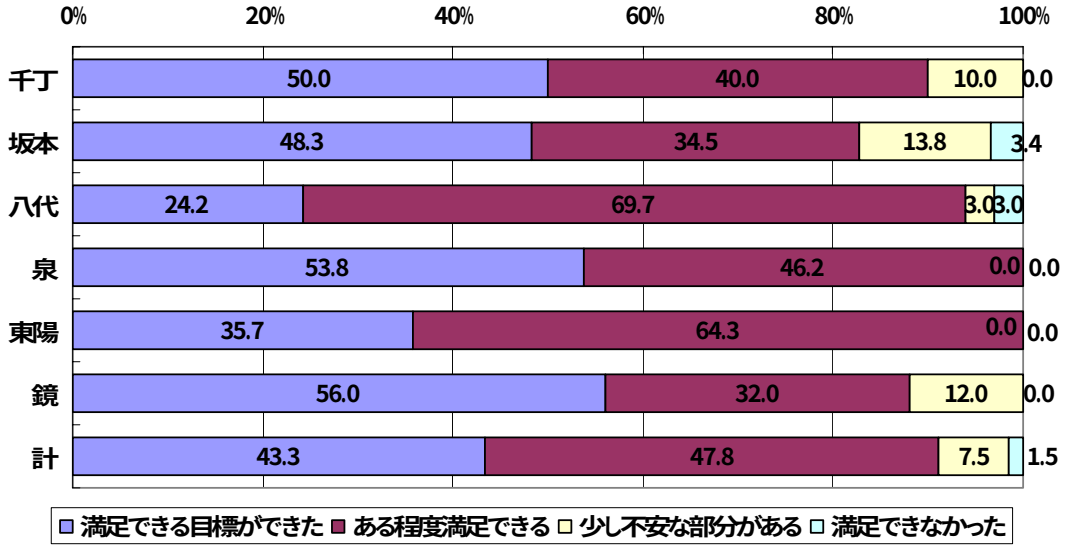
②年代



③ワークショップの全体の印象



④グループ内での議論



⑤議論した取り組み（プロジェクト）